

○尋常科三年第三期。

○運針

前期の通り。運針ハ、五十分間に、三十尺以上一百尺迄とむ。

但一針目二分位。

一。袖形三分より一寸迄の縫方。袖口の懸け方。

一。袷二三分位の左右の裾縫方。

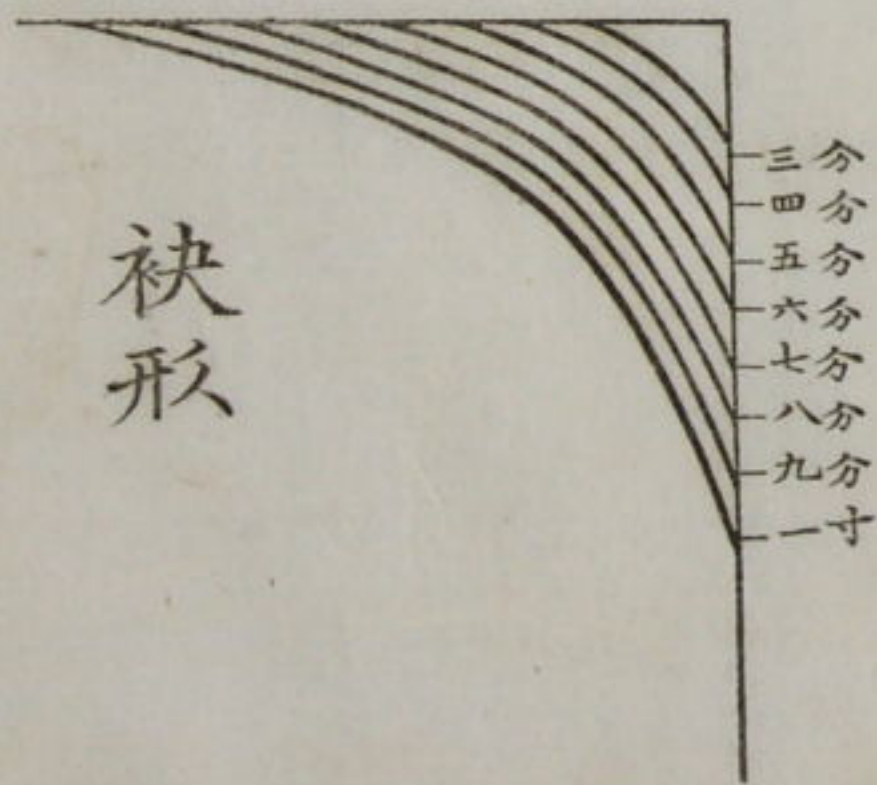
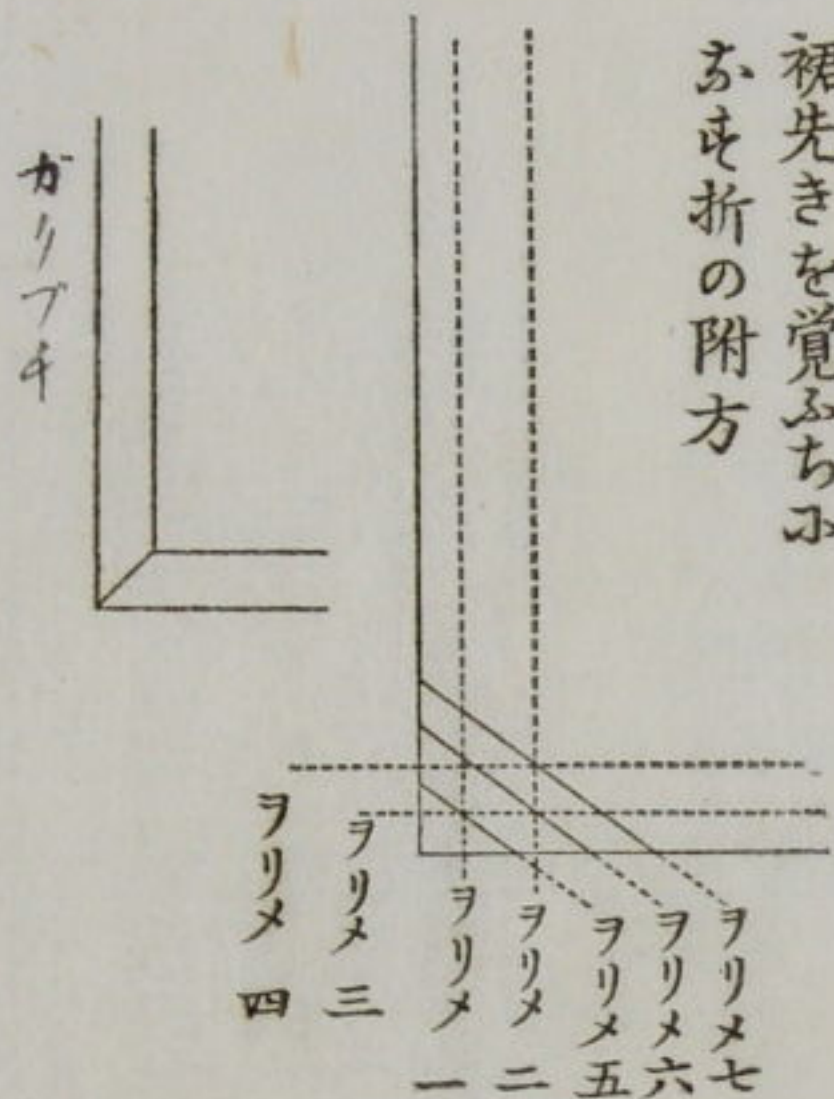
但一五十分間に、各二個以上四五個位迄縫ひ上ぐる事。

一。袖口紵方。懸繼の仕方。損所繕ひ方。

但一各五十分間に仕揚ぐる事。

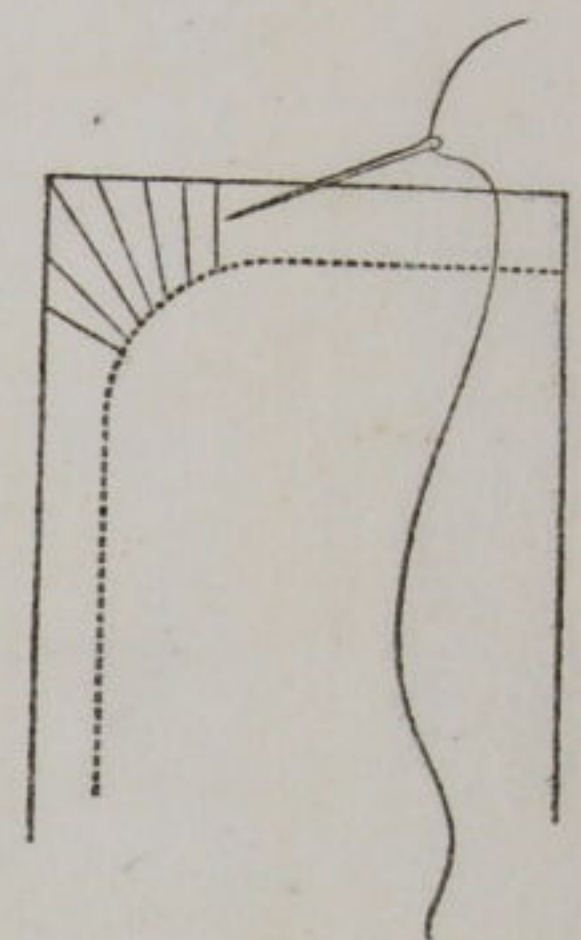
一。雛形に依り、衽、衿等の附方を五十分間より、ふさふさむ。

裾先きを覚ふちふ
ふさ折の附方

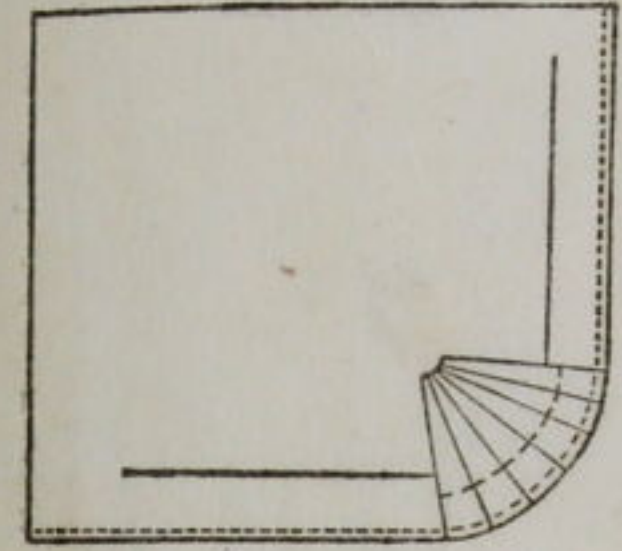


裁縫考手言卷之一

袖形並に裙形の縫ひ方。



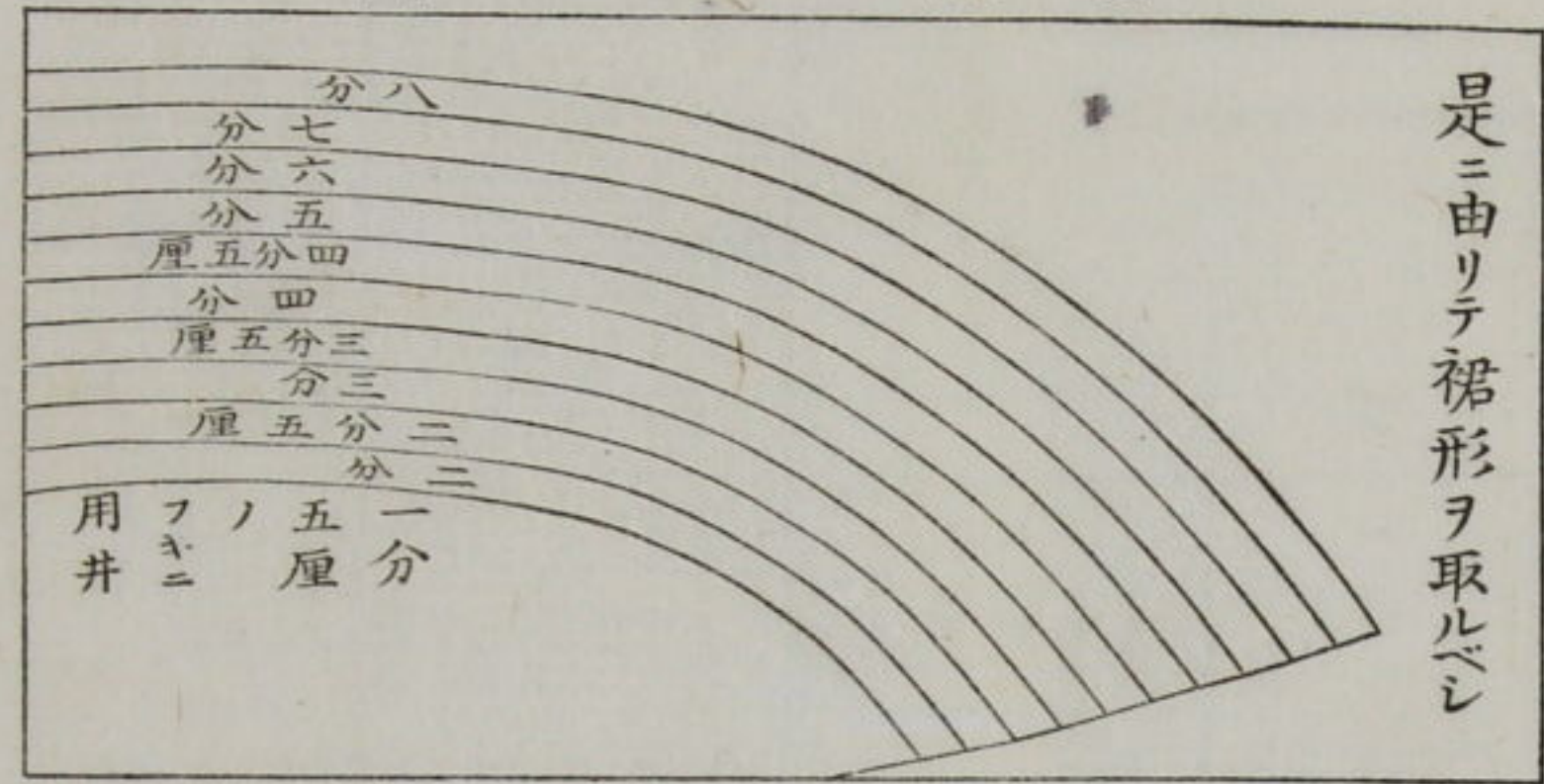
袖ノ形ノ裏を見たる図



袖形を縫ふには、袂へ袖形の定木を當て、篋を以て標を附け、其所は針目をこまかに縫ひ、袖口あきの所を能く糸止をふし、其の後、上圖の如く袖形を作る。五つ以上綾ひざを取り、少々きせをかけて、折を附くるふり。但し、最初は上圖の如く布に線を描いて、各生徒は渡し置くべし。

尋常科一年第二期

裙形を拵る圖

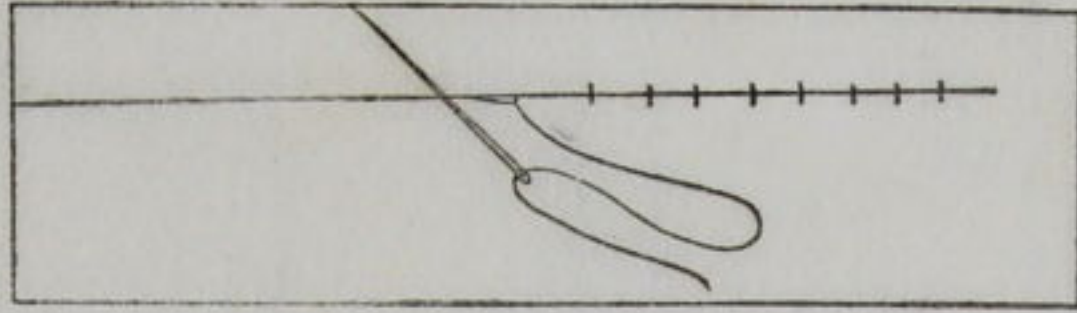


是ニ由リテ裙形ヲ取ルベシ

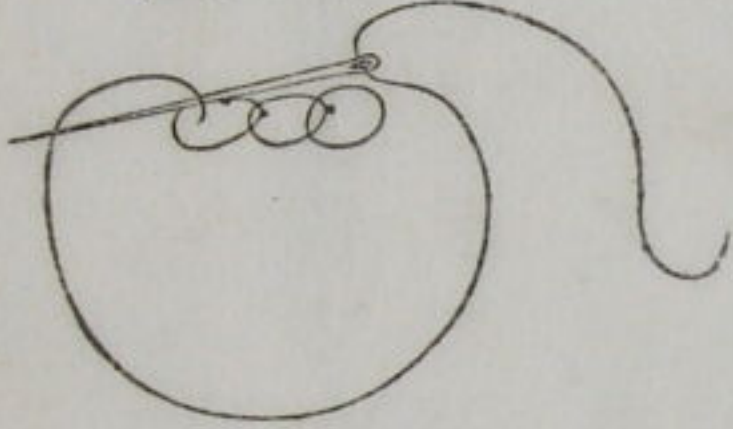
裙を縫ふには、先づ裙先の標の所より裙形を當て、篋を以て印を附け、其所を表社の中文に裏の社を縫ひ、去め、裙先の方へ斜に裏社を引き張りて、息を吹きかけ、膝頭ふ載せて、掌にて壓し、乾かし、然る後、表社を己の向ふに、裏を自己の方ふなして持ち、程よき所に待針を刺して、其所を小針に縫ひ、五厘きせをかけて、表の方へ折を附け、かやうにして、かくし、駢糸は、針目を四五分位にかして、掛くるなり。

裁縫考手言卷之一

縫りつま



縫輪

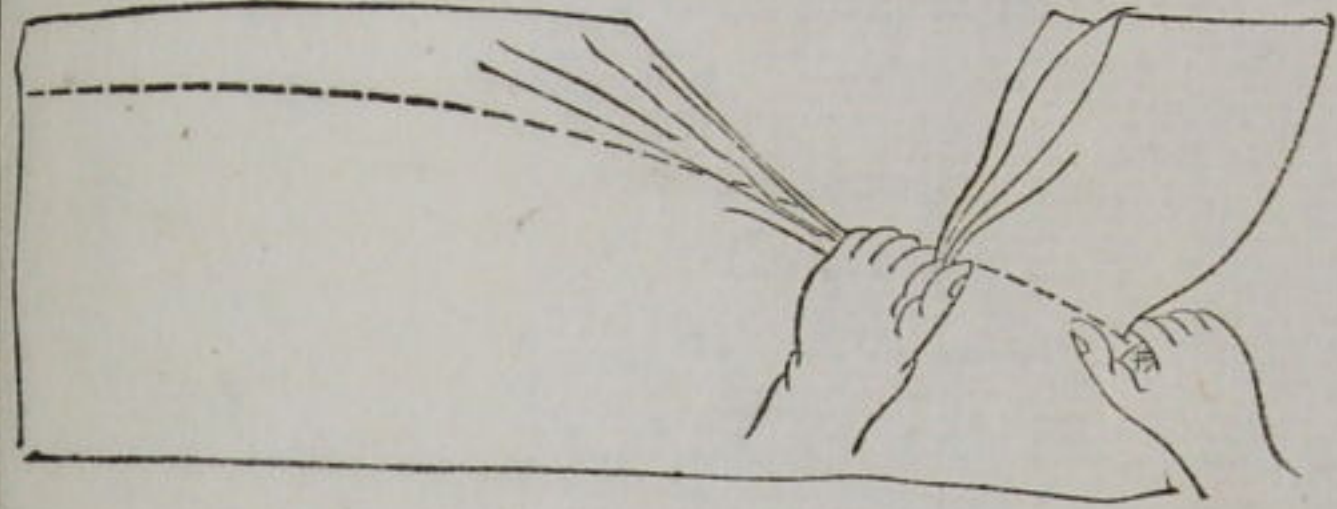


輪縫は種々の模様を画きて縫をなまるときに用ふる縫方なり。

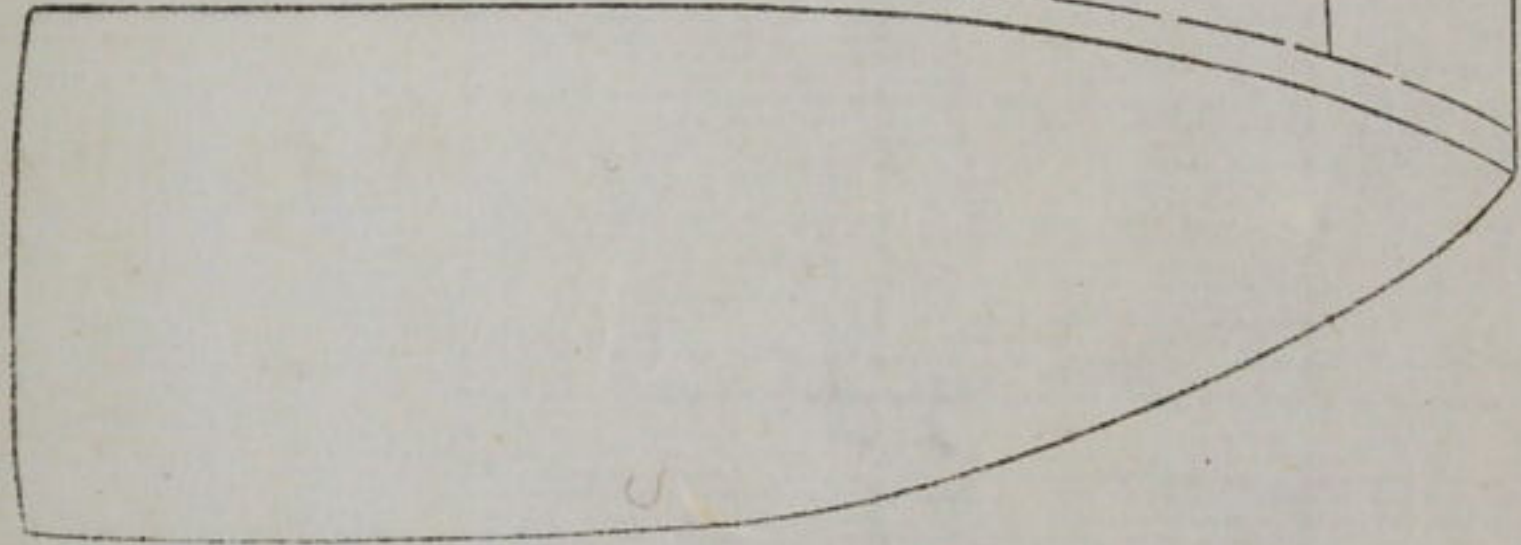
○尋常科一年第三期

まつり縫は表の方に針目を小さく出して針を懸け他の一方をも縫込の端の所に針を懸け、上圖の如くなまなり。

様有ふ縫を裾左



圖るた見を裏てげ揚ひ縫



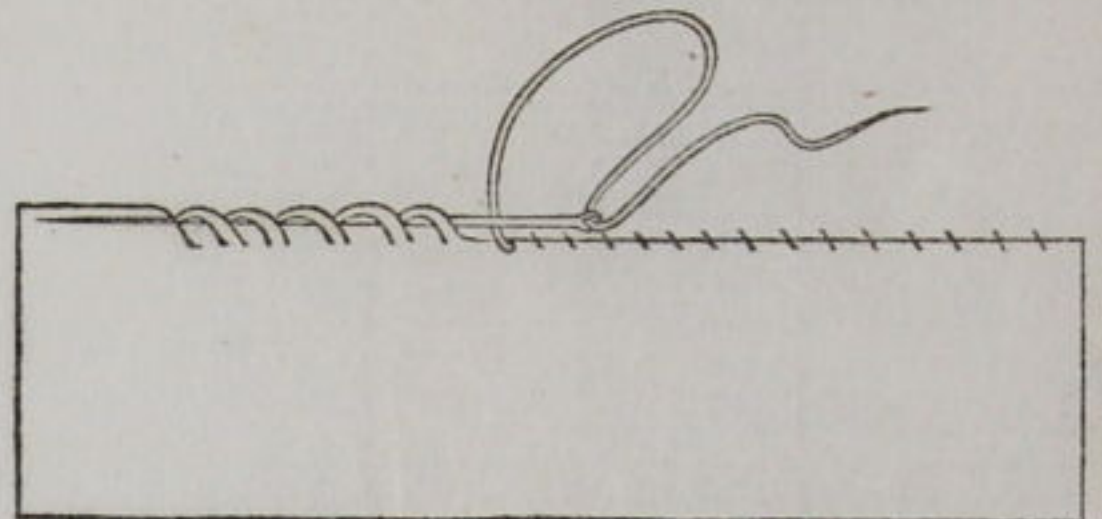
様有るたげ揚ひ縫を裾左



裁縫教科書卷之一

裁縫教科書卷之一

縫 卷



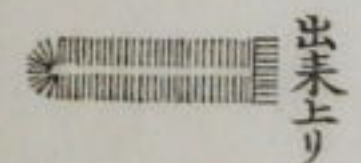
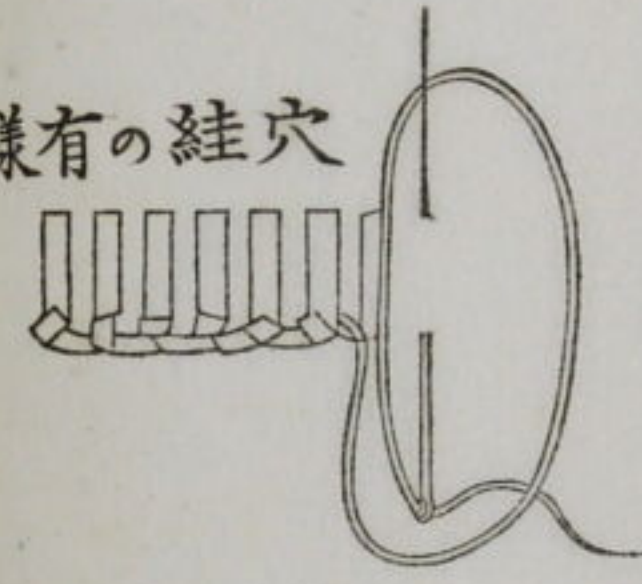
卷縫は裁目のみたれぬ様且さけざる様躡糸を以て針目一二分位に縫ふなり。其の縫方上圖の如し。

ボタン穴かゞり。初歩の者ハ、色糸を以て裁目より二厘程の深さに針を懸け針本ふる糸を針の先になる様に

かし、自己の前より向ふに糸を掛けて、針を抜き出まなり。

凡一時間に三つ以上七つ位迄なまなり。

穴縫の有り様

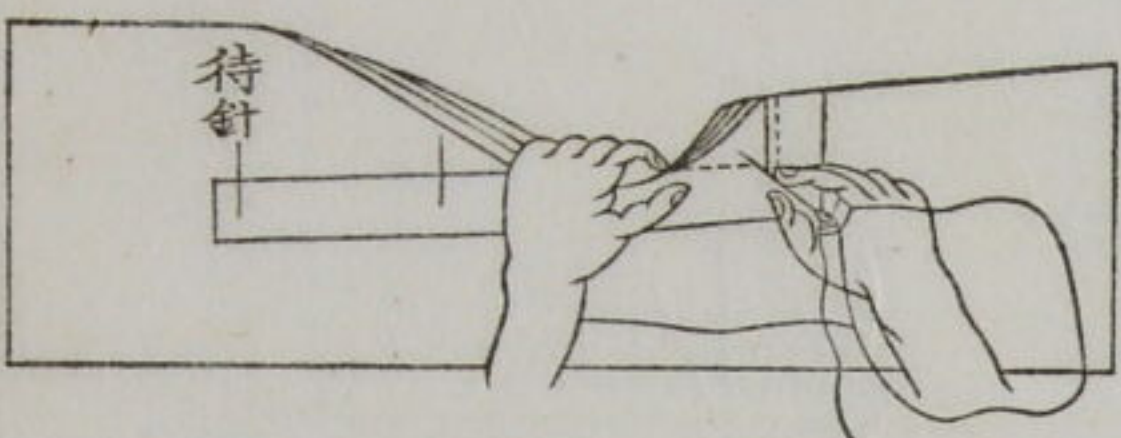


出来より

袖口の懸け方ハ始め横の方を縫ひつけ

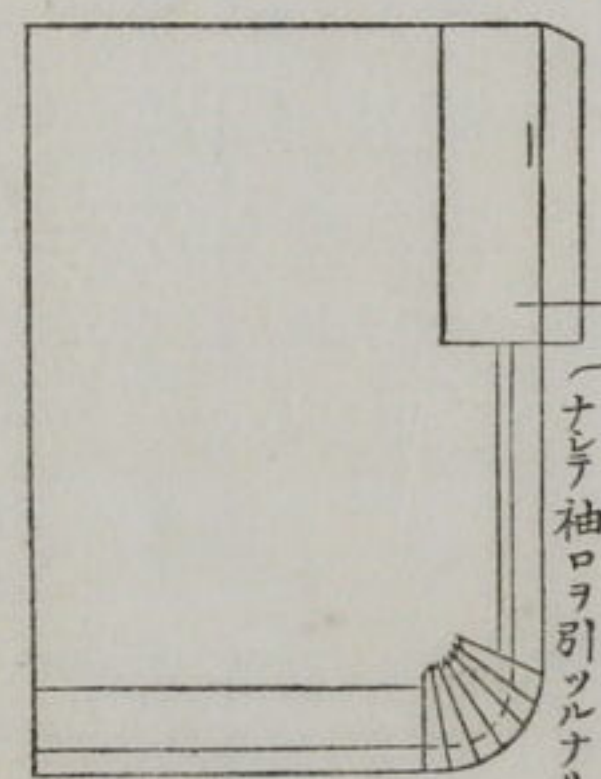
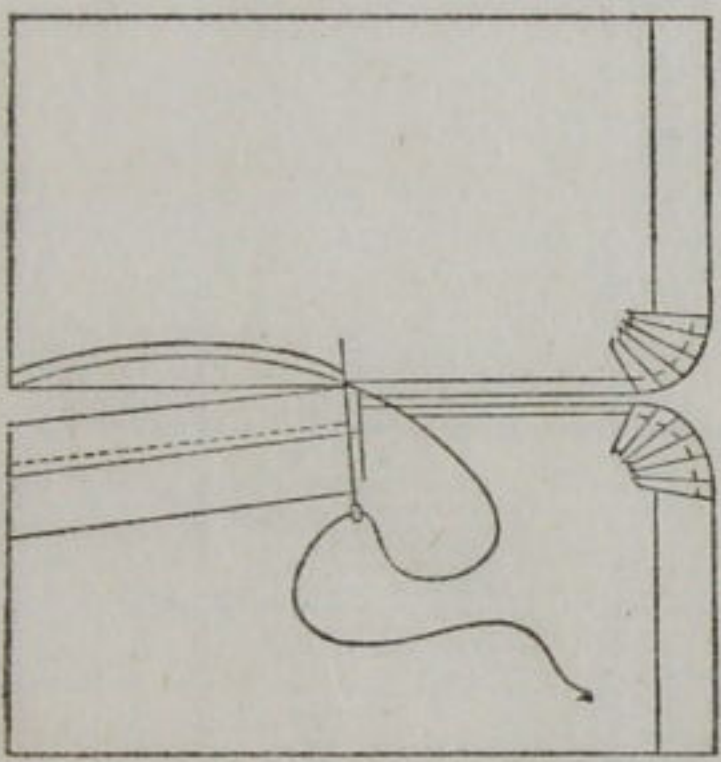
角の所ハ小さく針止をかし、次ハ堅を縫ひ付け、次ハ又横を縫ひ其の折ハ袖口の方へ返すあり

袖口を懸ける有り様



待針

裏袖を縫ひ揚げるたる圖 袖口止めて締める有り様



縫シロ四分裏方ヲ一分ナシ袖口ヲ引ツルナリ

待針

袖口を締る圖

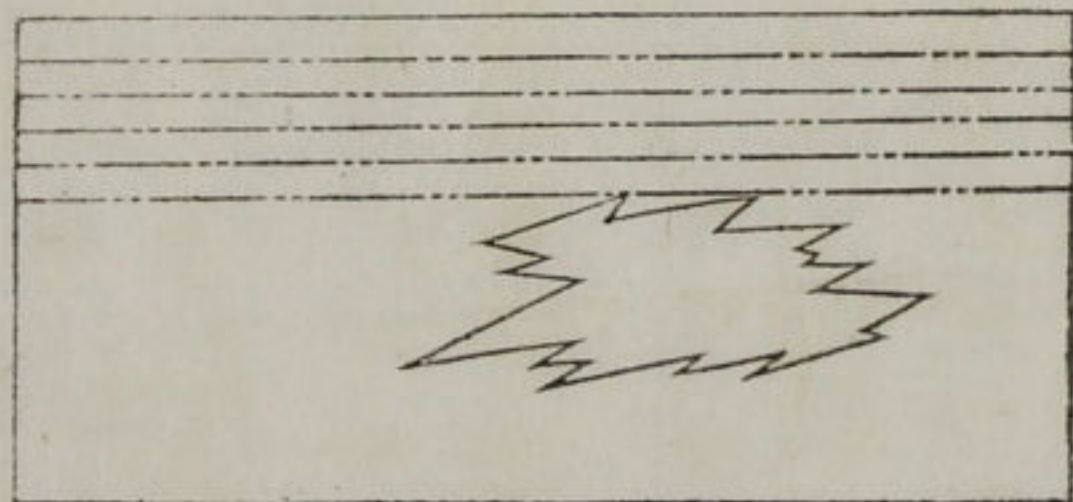
マチハリマチバリ

袖口綿を縫る小糸一ろ四分にして針目一寸位小糸と綿とつらぬ様に綿をくり付け、袖口明を止るにハ、表袖を二分程ゆるくなして裏と表の間に於て能く糸止をかし、次に締始めと締終りといハ、表の方を引きつり、其の他ハ表の方をゆるく締るあり。

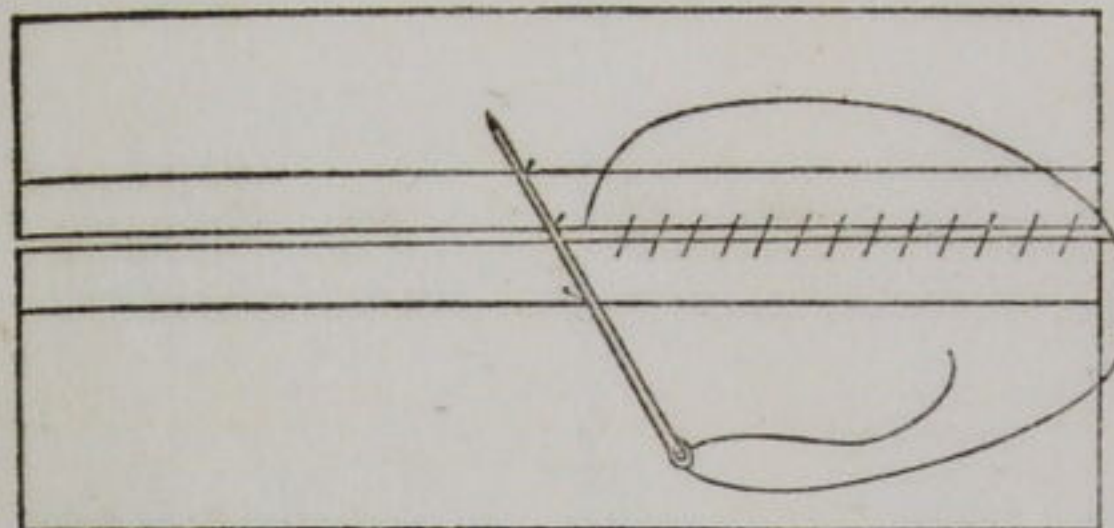
木綿ヲ繕圖



絹布ヲ繕圖

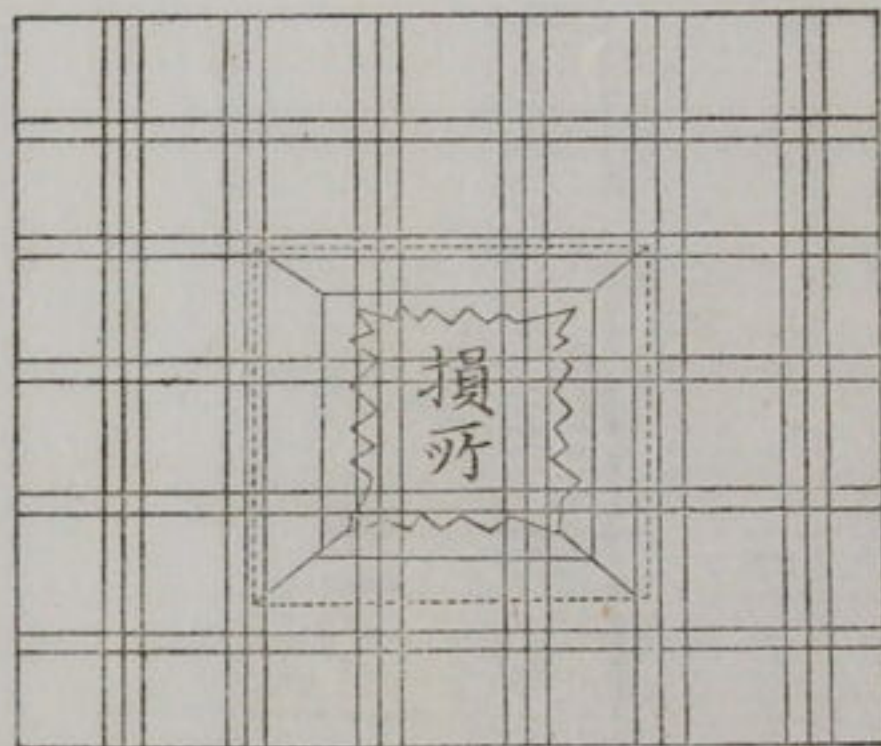
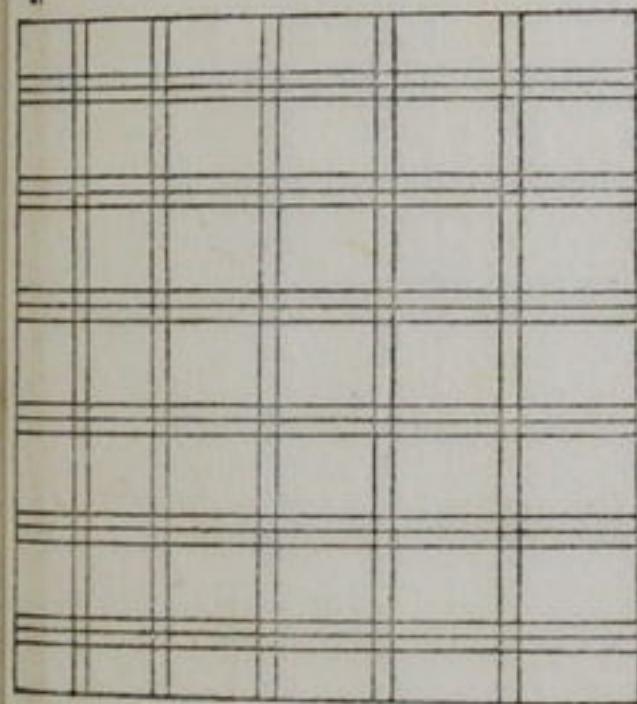


懸はぎの仕方



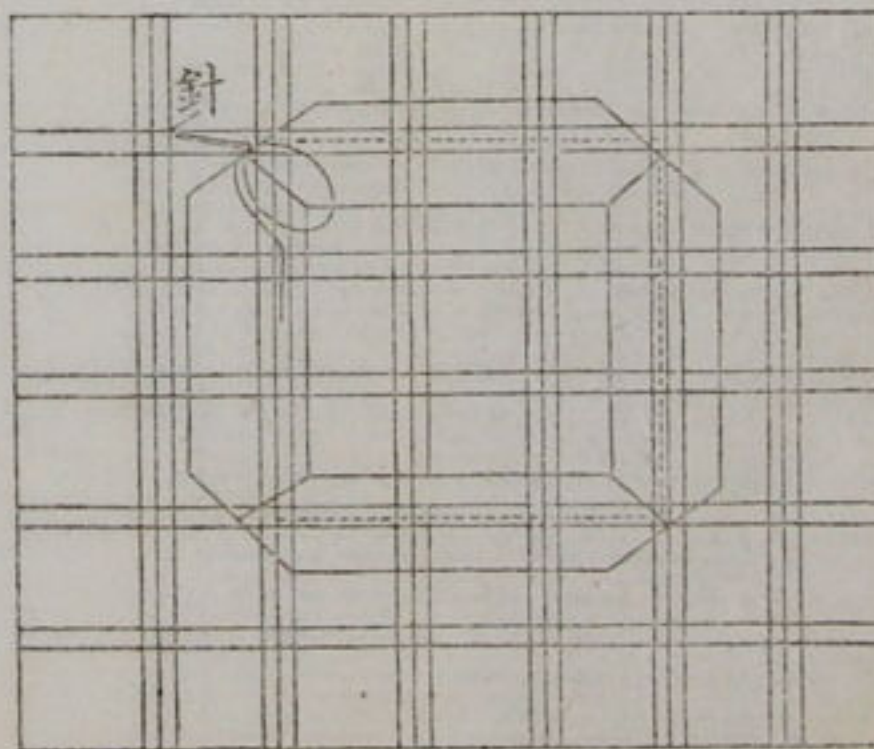
出上りの圖

掛はぎの仕方



方繕ヲ損

懸繕をふま圖



此方外ヲ入ルト云フ

懸繕ハ損所、或ハ短き所へ足ま
 ときの仕方切して、縞と縞とを合
 せ折を付け、其所スガ糸、或ハ共糸を
 はつて、布一本へ針を刺し、能く縞
 を合せて、繕付け、裏の方より
 鋸を當つるなり。

表綴糸糸言先之一

○尋常科四年第一期。

運針及び袖形、裙形、袖口の紵方、ボタン穴のかぶり方。

前期の通り時々之を練習せしむ。

一つ身、三つ身、四つ身、襦袢の縫方、裁方、積方、

一つ身の襦袢を仕立つる寸法

袖附三寸五分以上、身のやつくち二寸、身巾前後共いつばい、馬乗二寸、衿巾八分、其の他はいつばい。

一つ身の襦袢を縫ふには、先づ袖の表を見て、八つ口の方を五分残して、あさく縫ひ引き返し、裏を見て、袖丈の標の所を縫ひ、袖附を右ふして、左の袖は、縫ひ目を自己の向ふへ折を附け、右の袖は、自己の方へ折を附け、又引き返し、表を見て、双

方正しくして下に置き、袖巾の標をつけ、其所へ折を附け、八つ口を三つ折よして、紵け、次に後巾いつばいよして、馬乗の印より身の八つ口の印迄脇を縫ひ、其の縫込を、前身頃の方へ折をつけ、次に裾を二分五厘の中に三つ折とあして縫ひ、脇縫よくせをつけ、又身の八つ口と馬乗とをこぢ袖を附け、其の縫目は、袖の方へ折を附け、次に前巾いつばいに衿肩迄斜に折を附け、其所へ衿を競べて、待針を刺し、之を付け、其の縫目は、衿の方へ返し、次に襟襟は、左を五分程長く掛け、衿巾の印を付け、又其所に折を付け、左右の衿先ハ一分巾を縫ひ、縫込ハ裏の方へ返し、次に衿を紵け、双方正しくあして、疊みつくるなり。

○三つ身襦袢を仕立つる寸法。

袖付四寸五分内外、袖巾六寸五分、七分身の八つ口二寸馬乗二寸身巾前後いつばい、衿巾一寸、其の他は出来得るだけにかまなり。但し廣袖ならば、何れも袖巾は上着と同様あり。三つ身襦袢の縫方は、脊を袋縫いにして、寸法の少く異なるのみ、よて其の他の縫方順序ハ、一つ身と同様なれば之を略す。

尋常科四年第二期 ○四つ身襦袢を仕立つる寸法。

袖附五寸、袖巾七寸、七分身の八つ口二寸馬乗二寸身巾前後共いつばい、衿巾一寸一分、其の他はいつばい。四つ身縫方も三つ身と同様なれば之を略す。

運針袖形拵へ方袖口の紵方ボタン穴かゞり方衿衿附方等より、各種の襦袢。

巾九寸五分の布を以て一つ身襦袢の裁方及び積方。

但し袖丈五寸身の丈一尺、衿肩八分、衿丈二尺三寸、衿巾二寸五分。

一ツ身襦袢ヲ
裁ニ袖丈六寸
袖巾ハ布半巾
ニナシテ身
丈一尺二寸衿
継ギニセバ其
用布幾許

後	前	そ	で
	前		
	身丈 一尺 衿肩 八分	袖丈 五寸	
	二丈 三寸	五	
袖	身	衿廻	尺
5 + 10 = 15		70 + 1.5 = 71.5	尺
15 × 2 = 30	用布	11.5 × 2 = 23	寸

裁方、三尺の中より、一尺切斷し、二つ割になし、て、兩袖とし、残りの二尺を半巾に折り、又、豎二つに折り、衿肩八分に切り、後身頃ハ、其の儘に置き、前身頃ハ、半巾小切斷す。衿ハ、別切を用ふるなり。積方、袖丈へ身の丈を加へて二倍す。又、衿丈ハ、身の丈へ衿廻しと衿先の縫志ろとを一寸五分加へて二倍するなり。

○大ぶりの一つ身襦袢の裁方及び積方。

但し袖丈一尺四寸、身の丈一尺一寸。

衿丈二尺五寸
衿巾二寸五分
袖丈一尺四寸

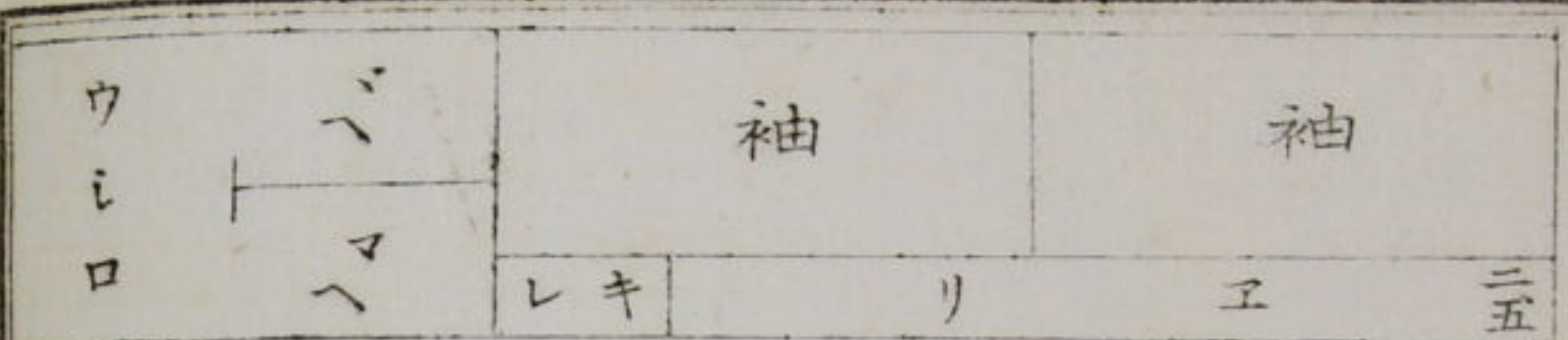
身丈一尺一寸

衿肩一寸

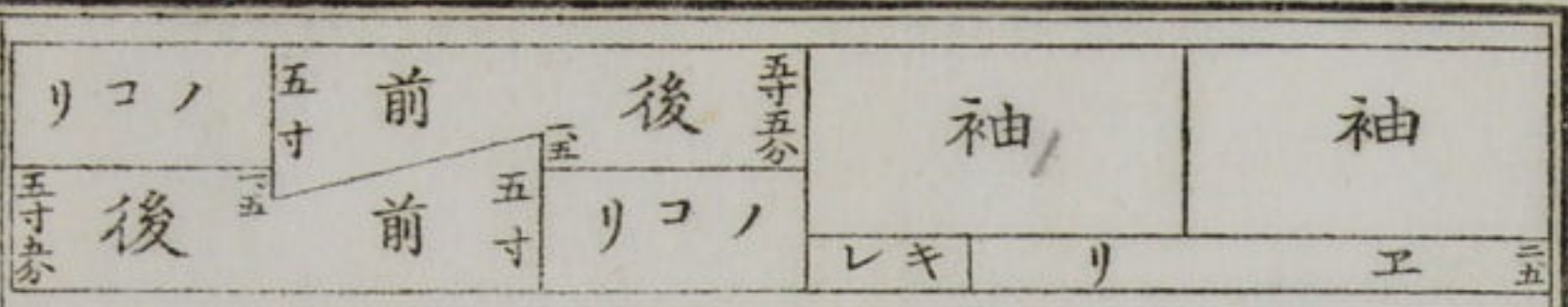
解袖丈の四倍と身の丈の二倍とを加へて用布を知るなり

$$14 \times 4 + 11 \times 2 = 56 + 22 = 78$$

$$78 \div 2 = 39$$



三ツ身襦袢
裁三袖丈一尺
四寸身丈一
尺三寸五分ニ
ナサントセバ
其用布何程ナ
リヤ



中九寸五分の布を以て、三ツ身襦袢の裁方及び積方。

但し袖丈一尺三寸五分、身の丈一尺二寸。

裁方九尺の中より五尺四寸裁切り、片端より巾二寸五分堅に落して、衿となし、残りの廣き方ハ

二つに切りて、袖となし、是れ等を取り残りたる

三尺六寸を三ツ折し、一は向の方より五寸切込

用布は自分の方より又五寸切込み、衿肩一寸五

分とし、脊の端より、残切を取り、前身頃は、

圖の如く斜に裁断するなり。

積方袖丈四倍と身の丈の三倍とを合せ

て、總尺を知る。

$$135 \times 4 = 540$$

$$36 + 54 = 90$$

常中長サ一丈
三尺五寸ノ布
又テ身襦袢一枚
身襦袢一枚トテ
裁ニ一身襦袢
ノ丈一尺一寸
袖丈六寸ニナ
レニ衿継ニシ
テ三ツ身襦袢
ノ身ノ丈一尺三
寸五分ニセハ
其袖丈ハ何程
ナリヤ

四ツ身襦袢ヲ
裁ニ袖丈一尺
四寸身ノ丈一
尺四寸ニセバ
其用布幾許ナ
リヤ

三つ身襦袢前中足の裁方

六、三五	うしろ	まへ	シタノ中前	袖	袖
		まへ	ウしろ	れき	リ
		半中	シタノ中前		エ

大ぶりの三つ身襦袢。
袖丈一尺五寸
積方解前に同ト。

裁方の順序

九尺九寸の中より六尺裁切りて。片
端より中二寸五分堅よ切落し之を
衿とし廣き方を兩袖となし、残りの
三尺九寸を三つ折になし、一
つは自分の向より真中まで切
り、一つは自分の方より中の真
中迄切込み、圖の如く裁ちて、脊
の落しを前巾へ繼ぐふり。

$15 \times 4 = 60$
 $13 \times 3 = 39$
 $60 + 39 = 99$ 用布

巾九寸五分の布を以て、四つ身襦袢の裁方及び積方。
但し袖丈一尺五寸身の丈一尺五寸。

袖丈一尺五寸

裁方。一丈二尺の中より、六尺切りて、又之を
二つに裁切り、兩袖となし、残の六尺は、其の
片端より中二寸五分落して衿となし、其の

廣き巾の方を四つ折ふふして、衿肩一
寸七分切りて、身頃とまゐるなり。

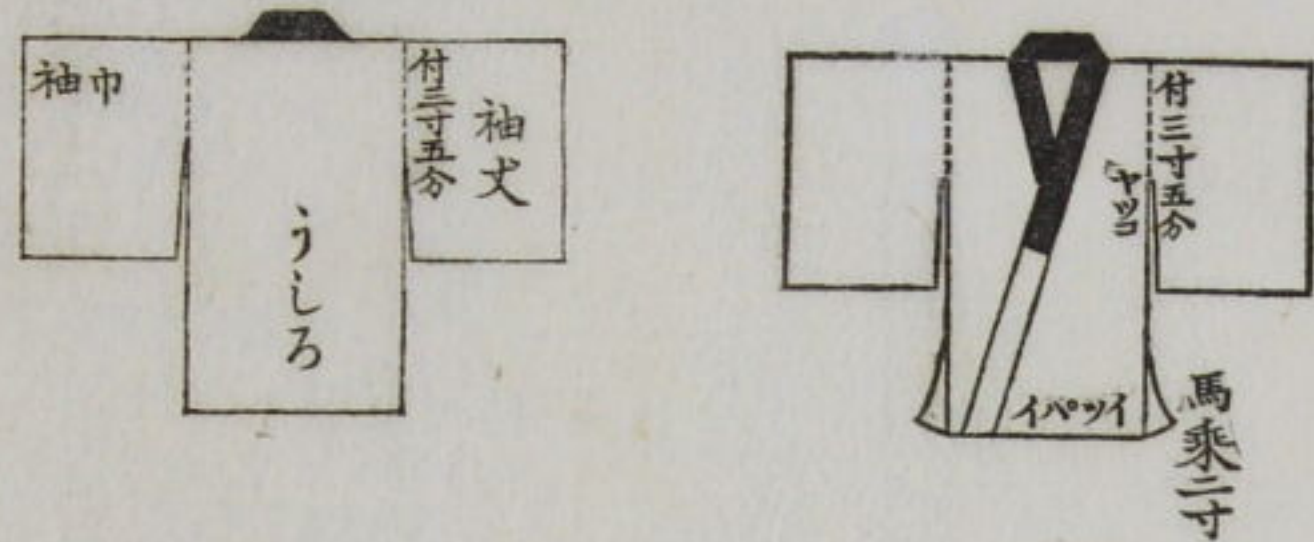
積方。袖丈と身の丈とを合せて四倍を。

項身	項身	袖	袖
レキ	リ	エ	エ

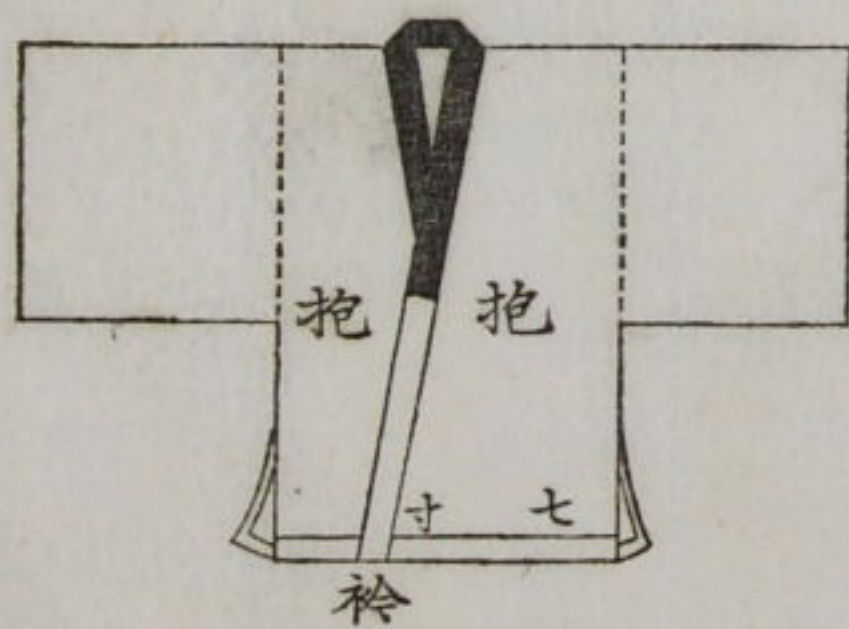
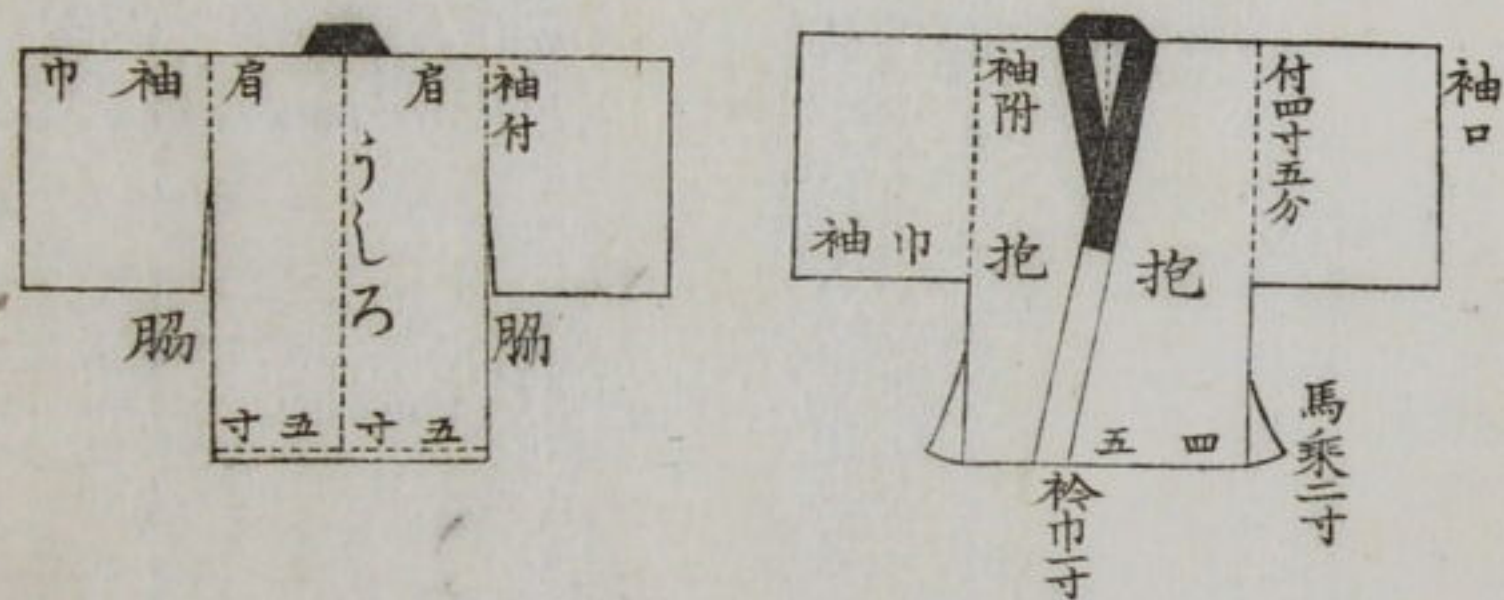
身丈
一尺五寸
衿肩
一寸七分
衿巾
一寸五分

袖身
 $15 + 15 = 30$
 $30 \times 4 = 120$ 用布

一ツ身襦袢仕立揚之圖



三ツ身襦袢仕立揚之圖



二三歳。
四五歳。
六七歳。
八九歳。
十一二歳。
十三四歳。
十五六歳。
大人。

○筒袖を仕立つる袖の寸法。

口二寸二分。 附四寸。
口二寸五分。 附四寸五分。
口二寸八分。 附五寸。
口三寸。 附五寸五分。
口三寸二分。 附五寸七分。
口三寸五分内外。 附六寸内外。
口三寸八分内外。 附六寸三分内外。
口四寸内外。 附六寸五分内外。

式達衣斗書卷之一

を付け、又其所へ折を付け、馬乗の印より袖附の印迄脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、其の縫込多き時は、之を前後へ開き、後を前の方へ一分交へて、之を縫附け、縫込を身頃へ綴附け、次に袖附は、身頃と袖とを四校共に糸止をかゝり、袖附の始め終りは、一寸程の間、身頃を浅く折りて縫ひ、夫れより上は、一分の縫代とあゝりて、縫目ハ袖の方へ返し、次に裾口を二分五厘の中に三つ折にして縫ひ、前巾と抱の中との印を付け、其所へ折目を付け、衿と折目とを能く揃へ、待針を刺して、衿を付け、其の折目は、衿の方へ返し、次に左を一寸長くして、袷衿を掛け、衿巾の印を付け、衿先ハ、一分中を縫ひ、折目ハ裏の方へ返し、次に衿を緋け、然る後双方正しくあゝり、之を疊

み、壓を置くふり。

但し、袷衿の掛け方ハ、初め、堅く折を付け、左右の端を一分程きせのかゝる様縫付け置き、衿の縫目をよくこき出し、衿より袷衿を五厘程先へ出して、衿の見えぬ様に袷衿を少しゆるく緋付くるふり。

男襦袢裁ク
ントスルニ袖
丈一尺二寸五
分身ノ丈二尺
ニナサントセ
バ其用布何程
ナリヤ

袖	袖	身	身	項	項	身	身	袖
方及び積方。	袖丈一尺二寸	身丈二尺	身丈二尺	項	項	身	身	袖
積方の解。	袖丈の四倍と衿肩廻りの三寸とを	総尺より減じ、其の残りを五に除く	て身の丈を得身の丈へ衿肩廻りの	三寸を加へ、衿丈を得るなり	本裁男單襦袢裁方の順序	先づ一丈五尺六寸の中より、四尺八寸裁ちて、兩袖	とし、次より八尺四寸裁ちて、之を四つ折とし、衿肩	二寸二分切りて、身頃とし、残りの二尺四寸を半
								中に裁断し、真中にて継ぎ、衿とよめるなり。

常巾長守二丈
七尺ノ布ヲ以
テ大人ノ男襦
袢一校ニ四ツ
身ノ襦袢一枚
ヲ裁クントス
ルニ四ツ身襦
袢ノ身ノ丈一
尺五寸袖丈一
尺五寸ニセバ
大人ノ襦袢ノ
袖丈及身ノ丈
ハ幾尺寸ニナ
シテ可ナリヤ

袖	袖	身	身	項	項	身	身	袖
巾九寸五分の布を以て、男襦袢を二枚裁つ時の用布を求むる法	袖丈一尺二寸	身丈二尺	身丈二尺	項	項	身	身	袖
但し袖丈一尺一寸、身の丈二尺五分。	衿肩二寸二分	衿丈四尺八寸	衿肩廻り	衿肩廻り	衿肩廻り	衿肩廻り	衿肩廻り	衿肩廻り
解。	袖丈の八倍と身の丈の十倍	とを合せて、これに衿肩廻り	を加ふれば、用布を得るなり。					

袖丈 11. x 8 = 88.
身丈 20.5 x 10 = 205.
205 + 88 = 293.
293 + 6 = 299. 用布

○尋常科四年第三期

運針袖形袖口紵方裙形縫方衿付方ボタン穴かぶり方等
前期の通りにて時々點取をなす。

袖丈 一尺二寸五分
方。 巾一尺三寸の布を以て男襦袢の裁方及び積

袖	袖	エ	リ	六五	前	後	八七
					六五	三	八七
					六五	三	八七

身ノ丈 二尺一寸
衿ハ真中へ 足一切を 入る、ふり。

袖丈 $12.5 \times 4 = 50$
 身丈 $21 \times 3 = 63$
 $50 + 63 = 113$ 用布

解。

袖丈の四倍と身の丈の三倍とを和して用布を知るなり

そ	そ	み	み	み	み	半市	リ

巾九寸五分の布を以て衿纏の裁方及び積方

但し衿別に半巾の切を用ふ。

紋下寸 二尺六寸
衿の積方 $26 + 3 = 29$
 $29 \times 2 = 58$

衿肩寸五分
身 $26 + 3 = 29$
袖と身頃の用布 $36 \times 4 = 144$

身 $10 + 26 = 36$
 袖 $36 \times 4 = 144$

積り方の式

そ	そ	み	み	み	み	エ	リ

常巾の布を以て、釧口衿纏の裁方及び積方

袖 $18 \times 2 = 36$
身 $22 \times 5 = 110$
用布 $110 + 36 + 3 = 149$

衿肩寸五分
身 $22 \times 5 = 110$

袖 $18 \times 2 = 36$
 身 $110 + 36 + 3 = 149$ 用布

積り方式

常巾長サ二丈
五尺ノ赤鹿以
テ夏ノ長襦袢
ヲ裁ニ袖丈一
尺八寸ニナセ
バ身ノ丈後丈
袷丈ハ何程ナ
リヤ
但レ袖口ト
裾口ニ中ニ
分ノヘリヲ
縮細ニテ付
ルナリ

衿	身	身	袖	袖
衿 衿 衿丈三尺 九寸三分	身 前丈三尺五寸分	身 衿肩二寸四分	袖 後丈三尺五寸	袖 袖丈一尺七寸 裁方ノ順序
丈袖 17. x 4 = 68 35.8 x 5 = 179 68 + 179 + 3.5 = 250.5 8 x 2 = 1.6 250.5 - 1.6 = 248.9 35.8 + 3.5 = 39.3	寸三分を切り、其の残り一丈五尺一寸六分を身頃とす。	を切りて、兩袖とさし、其の残りより、衿丈三尺九寸三分を切り、其の残り一丈五尺一寸六分を身頃とす。	総尺二丈四尺八寸九分より、袖丈の四倍六尺八寸	巾九寸五分の布を以て、身の丈後三尺五寸、前三尺五寸八分

解。

袖丈の四倍と身の丈の五倍及び衿肩廻の三寸五分とを加へて二丈五尺を得夫より前下りの二倍を減まれば、総尺得るより前丈三尺五寸八分へ衿肩廻三寸五分を加ふれば、衿丈を得るなり

リ	エ	ろ	ご	み	ろ	ご	み	そ	で	そ	で
リ 33 ビクヲ	エ 17.7 ビクヲ	ろ 33 衿 五 尺地	ご 3.3 衿 五 尺地	み 17.7 身丈三尺 五寸	ろ 33 衿 五 尺地	ご 3.3 衿 五 尺地	み 17.7 身丈三尺 五寸	そ 33 衿 五 尺地	で 3.3 衿 五 尺地	そ 33 衿 五 尺地	で 3.3 衿 五 尺地
綿 三百目以上	75 x 44 = 60 170 - 60 = 110 110 - 8 = 102 102 + 3 = 105 105 = 5 = 21	21 + 8 = 29 29 - 3 = 26	衿肩三寸	身丈三尺	衿肩三寸	身丈三尺	衿肩三寸	身丈三尺	衿肩三寸	身丈三尺	衿肩三寸
解。	袖丈の四倍と、裾下の八寸とを総尺より減じ、其の残り、衿下りの三寸を加へ、五を除き、身の丈を得、又身の丈を身丈へ、裾下の三寸を減じ、衿下りの三寸を得るなり。	袖丈の六倍と、裾下の二尺七寸とを総尺より減じ、其の残り、衿下りの三寸を加へ、五を除き、身の丈を得、又身の丈を身丈へ、裾下の二尺七寸を加へ、衿下りの三寸を減じ、衿下りの三寸を得るなり。	二丈八尺四寸の布を以て、子守襦袢の裏裁方及び積方	但し、袖裏一巾半、小して丈二尺五寸、裾下二尺七寸、衿下り三寸	一丈七尺の布を以て、子守襦袢の裁方及び積方	但し、袖丈一尺五寸、衿下り三寸、裾下八寸、小して身の丈及び衿地を求むる法	袖丈二尺五寸	身丈三尺	衿肩三寸	身丈三尺	衿肩三寸

解。

袖丈の六倍と、裾下の二尺七寸とを総尺より減じ、其の残り、衿下りの三寸を加へ、五を除き、身の丈を得、又身の丈を身丈へ、裾下の二尺七寸を加へ、衿下りの三寸を減じ、衿下りの三寸を得るなり。

裁縫新書卷之一

巾一尺三寸、長一丈六尺七寸五分の布にて、女長襦袢の裁方
 圖及び積方、但し袖丈一尺六寸、前下り八分。

袖丈一尺六寸
 解。袖丈の四倍と前下りの八分を総丈より減し、其の残りを三を除き、後丈を得、後丈ふ前下りの八分を加前丈を得るあり

巾一尺七寸の布を以て、女長襦袢の裁方及び積方、但し袖丈一尺五寸身の丈三尺五寸前下り八分、袖丈の四倍と身の丈の二倍と、前下り八分を加へて用布を得るあり。

袖	袖	身	衿	八九
袖丈一尺六寸	袖丈一尺六寸	前丈三尺五寸	衿、真中へ足切を入るあり	後丈三尺四寸二分
袖	袖	身	衿	八九
16 X 4 = 64	16 X 4 = 64	167.5 - 64 = 103.5	103.5 - 8 = 102.7	102.7 ÷ 3 = 34.2
167.5 - 64 = 103.5	103.5 - 8 = 102.7	102.7 ÷ 3 = 34.2	34.2 + 8 = 35.8	34.2 + 8 = 35.8

袖	袖	身	衿	八九
前三尺五寸八分	身の丈後三尺五寸	衿、真中へ足切を入るあり	袖中四寸	袖丈一尺
袖	身	衿	袖	八九
15 X 4 = 60	35 X 2 = 70	70 + 8 = 70.8	70.8 + 60 = 130.8	用布

○女長襦袢縫方の順序。

先づ表袖と裏袖の口先とを縫合せ、裏の方へ折を付け、繋ぎを懸け、次は袖巾の印を付けて、八つ口を縫ひ、又袖下を四枚共に縫ひ、引返して袖下と八つ口とへ繋ぎをかけ、次は表の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊縫をなし、縫目を自己の方へ返して、下に置き、後巾と肩巾との印を付け、又折を付け、脇を縫ひ、其の縫目、前身頃の方へ返し、次は裏の身頃を取り、裾廻を縫付け、又繋ぎを懸け、衿肩を右にして、脊を縫ひ、其の縫目、自己の向へ返し、下に置き、後巾と肩巾との印を付け、脇を縫ひ、次は裾口を合せ、一分きせをかけて、繋ぎを懸け、裾を極めて、裾綴をなし、裏と表との間にて脊と脇との縫目を綴

是れハ襦袢の部類故此處に記せしガ實地ハ上級に於て裁縫するものとす。

ち、次に身の八つ口を縫ひ、袖を付け、表袖の縫目は袖の方へ折を付け、裏袖は身頃の方へ折を付け、次は前身頃の端を表と裏と共に綴ぢ前中と抱の中とその中間に印を付け、其所へ衿を付け、縫目は衿の方へ返し、躰糸を懸け、衿巾の印を付け、衿先は一分中を縫ひて、衿を紵け、次に袷衿を拵へ、左の方を一寸長くして、袷衿を懸け、然る後之を疊み置くなり。

但し右は總て四つ縫となきもよろしとせ。

袷衿の拵へ方ハ、裏衿緋縮緬あらば緋色木綿の剛く張りたる物を裏打とふし、表の方も同色の物にて、斯くなく、然る後裏衿と表衿とを合せ、巾を二寸残して、衿山の方を縫ひ、角は最初横地を折りて、綴付け、次は豎地を折り、綴付けて引返し、

躰糸をかけ、衿巾の印を付け、衿より五厘程先へ出して、紵付くるなり。

○高等科第一年第一期。

運針。袖形袖口、紵方、裙形、衿附方等、前期の通りにて時々點取をかま。

一つ身を仕立つる寸法

袖付三寸五分より、五寸迄、袖巾五寸以上、身の八つ口三寸、後巾前巾一をい、抱巾三寸五分、衿サガリ二寸五分、衿巾二寸五分より三寸位まで、相襦を二分つめ、衿下り二寸五分、裾下三寸五分より、五寸迄、衿巾九分内外。

一つ身單衣縫方の順序。先づ袖口の切を自己の向に、袖を自己の方に持ち、袖の切をゆるく、袖口の切を引つりて縫ひ、折目ハ袖の方へ返し、袖下を袋縫ふ、次は袖口の衽を二厘出して、躰糸を懸け、又袖口を紵附くる方へも躰糸をかけ、針目を三分位に紵付けて、下に置き、袖巾の印を付け、八つ口を紵け、次に衿下を紵け、次は後巾いつぱいとして、印を付け、脇

を縫ひ、折目ハ、前身頃の方へ返し、脇縫に縫込多くある時ハ、之を前後へ開きて、くせを付け、身の八つ口を綴ぢ袖を付け、折目は袖の方へ返し、次は前中と抱の中との印を付け、折を付け、其所へ衽を揃へ、待針を刺し、左右共下より衽を付け、其の縫目は、衽の方へ返し、次は裾残中二分五厘は三つ折より、針目を三分位小縫付け、次は衽を付け、縫目は衽の方へ返し、衽中の印を付け、衽先は一分中を縫ひ、其の縫目は、裏の方へ返して、縫ひ、然る後双方正しくおして、疊み置くおり。

但し其の品柄は依り、三つ衽は切を入るゝものとせ。

一つ身の裁方及び積方。

巾九寸五分長さ一丈二尺の布を以て、一つ身の裁方及び積方。

一つ身ヲ仕立
九寸法ヲ問フ

帯巾長サ二丈
ノ布ヲ以テ一
ツ身ニ裁裁ニ
袖丈一尺四寸
ニセバ身ノ丈
何程ナリヤ
但し衽釣裁
ニナシテ衽
ハギナシ

袖	袖	前	後
社	社	前	
社	社	前	
社	社	前	

但し袖丈一尺五寸。

裁方。一丈一尺の中より、六尺切り、其の中の片端より、巾六寸堅く断ちて、兩袖となし、残りの三寸五分巾を圖の如く裁切りて、衽衽となし、巾よて五尺残り一切を半巾は折り、又堅く二つは折り、輪は其の儘前の方ハ、二つ割はおして、前身頃とせらるおり。

積り方の解。

袖丈の四倍を総尺より減じ、二は除せば身の丈を得るおり

$15 \times 4 = 60$
 $110 - 60 = 50$
 $50 \div 2 = 25$

○一ツ身の袷縫方。

先づ裏袖と袖口を懸け、縫目は袖口の方へ返し、次は裏袖を自己の向ふに、表袖を己の方へ持ち、袖口の切を少くひきつり、表袖と裏袖とをゆるくして、口先を縫ひ、其の縫目は、表の方へ返し、下に置き、袖中の印を付け、八つ口を縫ひ、縫目は、裏の方へ返し、袖下は、裏表四枚共に縫ひ、引返して、縫目を正しくし、懸糸を懸け、次は表身頃を取り、後中と肩中との印を付け、脇を縫ひ、其の縫目は、前身頃の方へ返し、次は裏の後中と、肩中との印を付け、脇を縫ひ、次は表と裏との裾口の縫目を能く合せ、待針を刺し、裾口を縫ひ、其の縫目は、五厘きせを掛けて、表の方へ返し、懸糸を懸け、衽を定めて、衽綴をかき、次

は表と裏との間にて、脇の縫目を綴ぢ、身の八つ口を縫ひ、袖附の始め終りハ、身頃と袖とを四枚共よ止めて、表袖を縫付け、其の縫目は、袖の方へ返し、次は裏袖を縫ひ、折目ハ、身頃の方へ返し、次は前身頃の端を、表裏共よ綴ぢ、前中と抱の中との印を付け、次は左右の裾を拵へ、身頃の衽と衽とを能揃へて糸を止め、四縫ふかき裾下をも縫ひ、引返して、縫目を正しく、劔先の所は、表裏共よ綴ぢ、次は脊より左右へ衽を付下し、表衽の中の端へ、裏衽を縫付け、其の縫目は、裏衽の方へ返し、次は衽中の印を付け、衽先ハ一分中を縫ひ、三つ衽よ切を入れて、衽を断け、然る後正しく疊み置くなり

但し脊守ハ衽肩より五分下げて付け、紐ハ身の八つ口

一ツ身ハ赤子
ヨリニ才位迄
着用スル衣服
ナリ

の止めの通り、其の並び見競べて附くるなり。
又糸を以て守縫を付くるときハ、青、黄、黒、白、紅の五色の
縮糸を以て、圖の如く付くるなり。

男



女



一ツ身トハ身
頭一布ユヘ一
ツ身ト云フ

袖	袖	五寸	前	後
社	社	三寸	前	
社	社	三寸		

袖丈一尺三寸
袖巾五寸
社巾三寸
社丈一尺八寸
社巾三寸五分
衿丈三尺三寸

身の丈
一尺九寸
衿肩一寸

巾九寸五分長さ九尺の布を以て一ツ身の裁方及び積り方

但一袖丈一尺三寸

解。

袖丈の四倍を総尺より減ト、二ふて除
せば、身の丈を得るなり。

袖 $73 \times 4 = 52$

$90 - 52 = 38$

$38 \div 2 = 19$ 身の丈

裁方先づ九尺の中より五尺二寸切取り其端より巾一寸五分裁落して衿とふり又巾三寸落して左右の社と一其残りの巾五寸ある切を堅二つ小裁ら兩袖とせ然る後巾よて三尺八寸残り一切を半中に折り又堅二つは折りて衿肩一寸明け後身頃ハ其儘前身頃を半中に切斷せらるなり

別社ノ一ツ身
ハ衿衿ノ切ヲ
何レヨリ取ル
者ナリヤ

五寸五分	袖	袖
九寸五分	ウシロ	マヘマヘ
五寸五分	衿	衿
キレ	リ	上 巾分五寸一

巾二尺、長さ四尺八寸の布を以て、一つ身の裁方
及び積方。
積方の解

総尺四尺八寸を四に除せば、袖
丈を得、又総尺を二に除せば、身
の丈を得るなり。

$$48 \div 4 = 12 \text{ 袖丈}$$

$$48 \div 2 = 24 \text{ 身の丈}$$

裁方。先づ巾二尺の片端より、巾二尺の片端より巾五寸五分、次に巾九寸五分裁ち落して、身頃とふ、次に巾三寸五分を左右の衿とし、残りの巾一寸五分を衿とまゐるなり。

巾一尺三寸、長一丈三寸の布を以て、一つ身の裁方、及び積方。

但し袖丈一尺五寸衿下り二寸。

裁方。一丈三寸の中より、三尺切り、之を二つに
割りて、兩袖とし、次又五尺切り、其の片端より
巾二寸五分裁ち落して、衿とし、残りの廣き方を身
頃とし、巾にて二尺三寸残り、一切を衿と附紐
とし、よなまなり。

積方の解

$$15 \times 2 = 30$$

$$103 - 30 = 73$$

$$73 + 2 = 75$$

$$75 \div 3 = 25 \text{ 身の丈}$$

袖丈を二倍し、総尺より減じ、
其の残りより衿下りの二寸を加へ三に
除せば、身の丈を得るなり。

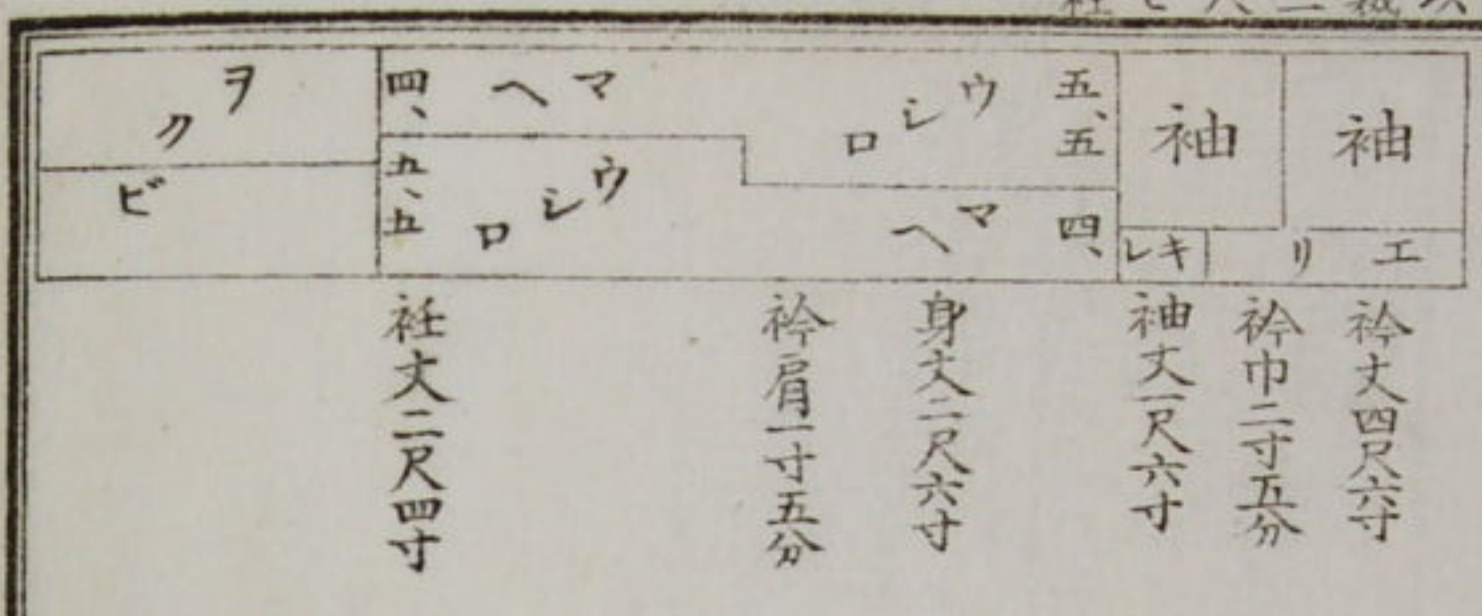
衿	四	レキ	リ	エ	五	袖
衿	四		ウシロ	マヘマヘ		袖
モヒ	二五					
モヒ	二五					

袖丈 一尺五寸
袖巾 六寸五分
衿丈 四尺一寸
身丈 二尺五寸
身頃巾 一尺五分
衿巾 二寸五分
衿肩寸 二尺三寸
衿巾四寸
紐巾 二寸五分

常中の布ヲ以テニツ身ヲ裁ニ袖丈一尺三寸身ノ丈二尺六寸五分ニセバ其用布何程ナリヤ

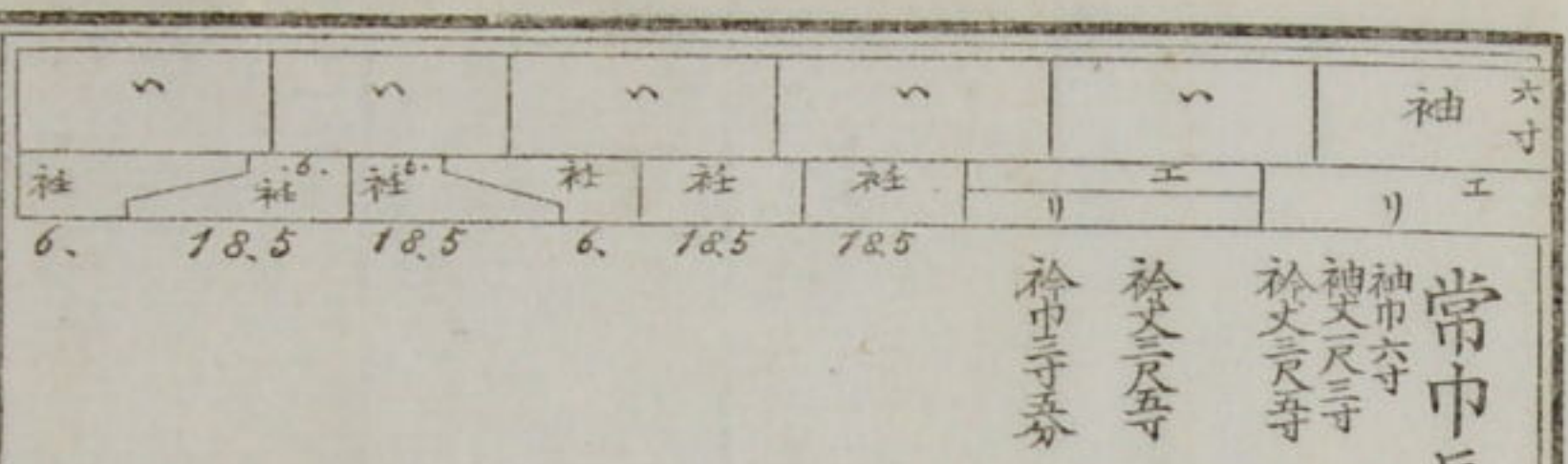
常中の布を以て、二つ身の裁方及び積方。

但し袖丈一尺六寸、身の丈二尺六寸、衽下り二寸

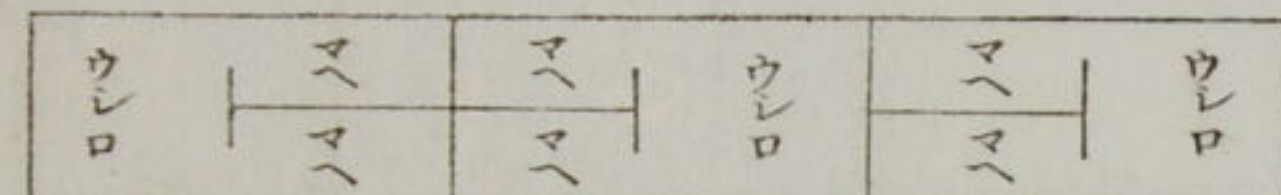


袖 $16 \times 4 = 64$
 身 $26 \times 3 = 78$
 $78 + 64 = 142$
 $142 - 2 = 140$ (用布)

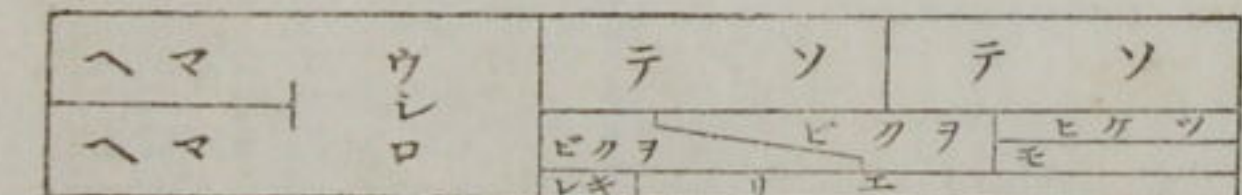
積り方。袖丈の四倍と、身の丈の三倍とを合せ、衽下りの二寸を減じれば、用布を得るなり。



常中長サ二丈八尺を以て一つ身三枚の裁方



尺總 $13 \times 12 = 156$
 $280 - 156 = 124$
 $124 \div 6 = 20.66$ (丈五分五厘)
 積り方



巾九寸五分長サ八尺を以て一つ身裁方
 エリ巾五分衽丈三尺五寸
 附紐一尺五寸
 袖丈一尺同巾五寸
 衽巾三寸同丈八尺寸
 裾下六寸
 衽肩寸
 身丈二尺

積り方
 袖 $10 \times 4 = 40$
 身 $20 \times 2 = 40$
 $40 + 40 = 80$ (用布)

裁縫及斗書長一

紐 附		ウレロ	マヘマヘ	ソ	デ
共				ソ	デ
ビクヲ	ビクヲ				

常巾の布を以て一ツ身裁方
袖丈二尺三寸

身丈二尺
衿肩寸

子巾五分
衿丈三尺六寸
社巾三寸五分
社丈八寸
社下寸

積り方
袖 $12 \times 2 = 24$ 身 $20 \times 4 = 80$
 $80 + 24 = 104$ $104 - 4 = 100$ 用布
襦袢二倍

ビクヲ	ヘマ	ウ	デ	ソ
ビクヲ	ヘマ	ロ	デ	ソ
紐 附		レキ		

巾二寸の布を以て一ツ身裁方
袖丈二尺六寸

衿肩寸
身丈二尺六寸
衿丈四尺六寸
社巾三寸五分

社巾三寸八分
社丈二尺四寸

積り方
袖 $16 \times 2 = 32$
 身 $26 \times 3 = 78$ $78 + 32 = 110$
 $110 - 2 = 108$ 用布
社下

巾一尺三寸の布を以て一ツ身裁方

ヘ	マ	ウ	九	で	そ	五
ヘ	マ	ロ	五	デ	ソ	五
ビクヲ		レキ				二

衿巾三寸
衿丈四尺五寸
袖丈二尺五寸
袖巾五寸五分

身丈二尺五寸
裾下尺
衿肩寸
社丈二尺五寸
社巾三寸五分

積り方
袖 $15 + 25 = 40$
 $40 \times 2 = 80$ 用布

ヘ	マ	ウ	デ	ソ	五	デ	ソ	五
ヘ	マ	ロ	レキ	ビクヲ	ヒクヲ	レキ	ヒクヲ	五
リエ	モト		エ	モ	ヒケツ	モ	ヒケツ	ニ

巾一尺一寸長サ一丈ヲ以て一ツ身裁方
附紐一尺八寸ツ
袖丈一尺三寸

衿丈四尺五寸
衿巾二寸

身の丈二尺四寸
衿肩寸

共衿一尺九寸

積り方
袖 $13 \times 4 = 52$
 $100 - 52 = 48$
 $48 \div 2 = 24$ 身丈

○一つ身綿入の縫方。

先づ裏袖に表袖より巾六分廣くなる様ニ袖口を掛け、其の縫目は袖口の方へ返し、駢糸を懸け、次ニ袖下は袖口の縫目を能く合せて縫ひ、袖付を右に持ち、左の袖は自己の方へ折をつけ、右の袖は是れに反し、次ニ表袖を縫ひ、折目は袖付を右よりして、左の袖は自己の向ふへ返し、右の袖は自己の方へ返し、口あきは二分の縫代よりして折を付け、其所へ駢糸を掛け、次に表袖巾の印を付、裏は夫れより六分廣く印を付け、次ニ表身頃を取り、後巾と肩巾との印を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、次に前巾と抱の巾との印を付け、又折を付け、其所へ衽を揃へ、待針を刺して、左右とも裾口より縫ひ

折目は衽の方へ返し、次ニ衿を付け、其の縫目は衿の方へ返し、次ニ表衿の中の端へ、裏衿を縫ひ付け、折目は裏衿の方へ返し、駢糸を懸け、次ニ裏の身頃を取り、後巾と肩巾との印を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、次ニ前巾と抱の巾との印をつけて、其所に折を附け、其所に衽の折とを揃へて之を縫付、其縫目は衽の方へ返し、然る後表と裏の裾口の縫目を揃へ、待針を刺して、裾を縫ひ、其の縫目に五厘きせを掛けて、表の方に折を付け、又駢糸を懸け、次に表袖をつけ、縫目は袖の方へ返し、次に裏袖をつけ、其の縫目は身頃の方へ返すあり。

但しつまを縫ふよりは、裏を自己の方へ、表を自己の向ふにして縫ふあり。裾口と裾下とは駢糸を懸け、又熨を懸

け然る後縫目を正しくおし夜着疊とまゐるなり。

○綿の入方。

先づ袖口の綿と裾綿とを拵へ次は裏は疊み置き、表を引伸し後の方を見て其の上に双方二寸位づゝ長く綿を置き次に裾口と袖口とに襖綿をくるみ襖の位を見て、縫方の縫目を揃へ表の方へ裏を引伸し又裏の前は綿を置き次は前の方より袂へ手を入れ袖口と袂とを共に持ちて引返し裾口も表の前より手を入れ脇縫ひと裾先とを持ち引返して双方正しく引合せおし。

○衿方。

三つ衿に待針を刺し双方引合せ袖口を四分折り針目を一

寸位よりして綿を盛り付け襖を二分と定めて縫目を合せ表を少しく緩くして衿に裾の縫目より一分五厘程上の方は襖綿をなし又衿の縫目及び脇の縫目を表裏合せて縫ひ、衿巾を揃へ折をも付けて裾下を衿に付け次は衿先の所は注意して表と裏とを共に縫ひ衿巾の印を付け衿先は一分中を縫ひ折目は裏の方へ返し衿を衿に付け次は附紐及び守縫を付け然る後之を疊み置くなり。

但し綿を入るゝ前は八つ口を縫ふも宜しとす。

綿入物の裏の裁方は襖の二倍だけ裏を長くし他は表より比べて裁つものなれど茲は之を略す。

○高等科一年第二期。

三つ身を仕立つる寸法。袖巾七寸内外、袖付五寸内外、袖口四寸五分内外、身の八つ口二寸五分、身巾前後一ぱい、衽巾一ぱい、相裙二分つめる、裙下七寸、衽下り三寸、衽巾一寸の出来あり、

三つ身單物、衿綿入の縫方及び裁方積方。

三つ身の單衣を縫ふよも先づ脊を袋縫にふま、其餘は一つ身の單衣と異なる事をければ之を省く。

三つ身の衿縫方の順序先づ裏袖に袖口を掛け、次よ裏袖を自己の向ふへ、表袖を自己の方に持ち、口明の印を合せ、表と裏とを少ゆるくして、袖口の切を引きつり待針を刺して之を縫ひ、折目を表の方へ返し、次に口明の所を持ち、但し其

三つ身を仕立つる寸法より五六寸位迄の子供の服あり。

三つ身を仕立つる寸法より五六寸に至る袖付四寸五分、五分袖巾七寸、内外身巾及び衽巾、つば、合襦三分つめ、衽下三寸、衽下七寸、衽巾一寸、親三分位あり。

の持方は、左の袖を裏を自己の方へ、右の袖は、表を自己の方へ持ち、四枚共よ之を止め、夫れより袂の角迄縫ひ、次に袖巾の印を付け、八つ口を縫ひ、折目は裏の方へ返し、袖下は四枚共よ縫ひ、折目は表の方へ返し、袂の所の縫込は、最初袖下を折り、次よ豎を折り、之を縫ひ、付け引返し、縫目を正しくおし、襷糸を掛け、次よ身頃を取り、衿肩を右とし、脊を縫ひ、折目は自己の方へ返し、下に置き、後巾と肩巾との印を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、次に前巾及び抱の中印を付け、又折を付け、其所へ衽を揃へ、待針を刺し、左右共下より衽を付け、折目は、衽の方へ返し、次よ裏の身頃を取り、衿肩を右に持ち、脊を縫ひ、折目は自己の向ふへ返し、次に後巾と肩巾

問題
三つ身の袷縫
の順序を記せ

この印を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、次に前巾及び抱巾の印を付け、又折を付け、其所へ衽を揃へ、待針を刺し、左右共裾より衽を付け、折目は衽の方へ返し、次に表と裏との裾口の縫目を能く揃へ、待針を刺し、裾を合せ、折目ハ、五厘きせを懸けて、表の方へ返し、其所へ躰糸を懸け、裾は左右共、くわいひつけ躰糸を懸け、衽を極めて、衽綴をふし、次に裏と表との間よて、脊と脇の縫目を綴ぢ、次に身の八つ口を表と裏とを合せて縫ひ、又袖付の所は、袖と身頃とを四枚共よ止め、表袖を縫ひ付け、折目は袖の方へ返し、次に裏袖を縫ひ付け、折目ハ、身頃の方へ返し、次に衽の縫目を綴ぢ、裏表の衽巾を揃へ、折を付け、裾下を縫ひ、引返し、正しくふして、衽先を裏と表と身頃と共に綴ぢ、次に脊より左右へ衽を付下し、衽巾の端へ裏衽を縫ひ付け、折目は裏衽の方へ返し、躰糸を掛け、衽巾の印を付け、衽先ハ、一分中を縫ひ、折目ハ、裏の方へ返し、三つ衽に切を入れて、衽を衽に、然る後之を疊み置くなり。

問題
三つ身綿入の
縫方順序を記
載すべし。

三つ身綿入縫方の順序。先づ裏袖よ、表袖より袖口の所、巾六分廣くなる様よ袖口を懸け、次に袖付を右とし、袖下より口明迄縫ひ、口明の所ハ、裏を少しゆるく、袖口を少し引つりて、糸止めをふし、袖付の方を右に持ち、左の袖は自己の方へ縫目を返し、右の袖は自己の向ふへ縫目を返し、次に表袖の裏の方を見て、袖附の方を右よ持ち、袖下より口明迄縫ひ、能く糸止めをふし、袖附を右よ持ち、左の袖は自己の向ふへ縫目

三ッ身裁_{ヲ仕}
立ル_{寸法}ヲ_問

を返し右の袖は自己の方へ縫目を返し左の袖は袖付の方より口明の廻りへ、繫糸を掛け右の袖ハ口明の所より袖附迄、繫糸を掛けて下に置き袖中の印を付け裏の袖中ハ袖口より下を表より五厘つめて印を付け袖山の所ハ表より六分廣く印を付け次に表の身頃を取り、衿肩を右に持ち脊を縫ひ折目は自分の方へ返し、後巾と肩巾との印を付け、左右共後の身頃を自己の方に、脇縫をふし、折目は前身頃の方へ返して下に置き、裾口と抱及び其の真中に印を付け、又折を付け其所へ衿を揃へ、左右共裾より衿を縫付け、折目は衿の方へ返し、次に脊より左右へ衿を附下し（但し衿下りの辺ハ）折目は衿の方へ返し、表の衿中の端へ裏衿を縫ひ付け、折目ハ裏衿の方へ返し、次に裏の身頃

三ッ身裁_{綿の}
入方_{順序}ヲ_問

を取り、衿肩を右に持ち脊を縫ひ、折目は自己の向ふへ返し、次に下に置き、後巾と肩巾との印を付け、其所に折を付け、脇を縫ひ、折目は前身頃の方へ返し、次に表と裏より前巾の印を附け、其所へ衿を揃へ、待針を刺し、左右共裾より衿を附け、折目は、衿の方へ返し、次に表と裏との縫目を揃へ、裾口を二分五分位よりして、裾口と裾下とへ繫糸を掛け、裾よかく、繫糸を掛け、次に身頃の方を一分の縫ひ代ふなして、表の袖を附け、折目は袖の方へ返し、次に裏袖を附け、縫目を身頃の方へ返し、裏袖の中に縫込あるときは、一分の縫ひ代に於て付ける、次に小繰方の縫目を正しくして、夜着疊となまなり。

三身裁方の
綿入の紵方順
序ヲ問フ

綿の入れ方。裏ハ疊み置き、表を引き伸し、後の方を見て、裾口より二三寸長く綿を置き、裾口と袖口とハ襷綿をくるみ、襷の位を見て、縫目の揃ふ様ハ表の方へ裏を引き伸し、裏の前ハ綿を置き、表の前の方より、袂へ手を入れ、袂と袖口とを共に持ちて、引返し、裾口も表の前の方より、手を入れ、脇縫の所を持ち、右手よて、裾先を持ち、引返して、総方引合せ、之を夜着疊とふまべし。

紵方。先づ裏と表との脊縫を合せ、三つ衿の所へ待針を刺し、ゆきと丈とを引き合せ、針目一寸位よして袖口に綿を縫附け、口明の所ハ表を少しゆるくして、裏と表とを共に止め、襷を二分にして、針目を二三分位に紵け、次ハ裾襷ナソコを極めて、襷

綴ぢをふし、次ハ脊脇を一尺程及び衿の縫目を衿先の所迄綴ぢ、表衿と裏衿との巾を合せ、折を付け、裏の方は、衿先の所を二針綿を縫りて、襷下を紵け、次に衿の縫目の所は、裏と表とを共ニ綴ぢ、衿中の印を付け、衿先ハ一分中を縫ひ、縫込のある所は、綿を薄くし、縫込のふき所ハ、綿を少し厚くして、衿を紵け、然る後正しく疊み置くなり。

巾九寸五分、長さ一丈三尺五寸五分の布を以て三つ身裁方の圖

但し袖丈一尺四寸、身の丈二尺六寸五分。

七、五	袖	袖	レキ	マ	ウ	シ	ロ
袖丈一尺四寸 袖巾七寸五分	袖巾二寸	袖巾二寸	二寸	レキ	レキ	レキ	レキ
身の丈 二尺六寸三分	前巾 四寸七分五厘	後巾 六寸四分五厘	社巾 三寸五厘	社巾 三寸五厘	社巾 三寸五厘	社巾 三寸五厘	社巾 三寸五厘

裁方の順序先づ一丈三尺五寸五分の中より、五尺六寸切り、其の片端より、巾二寸、豎に断ちて、衿どふし、廣き方を兩袖とし、残れる七尺九寸五分の切を三折になし、其の折目の所を一つを自己の向ふより、巾の真中迄切り、一つは自己の方より、巾の真中迄切り、然る後三折にせし、真中の切を半巾に豎に断ち、前身頃とし、次に衿肩一寸七分として、脊の端より、巾三寸五厘切り取り、之を左右の衿とまべし。

袖 144 × 4 = 56,
135.5 - 56 = 79.5
79.5 ÷ 3 = 26.5

巾一尺二寸、長さ一丈五尺四寸の片面の布を以て、追送り、三つ身の裁方及び積方。但し袖丈一尺六寸。

九	袖	袖	レキ	マ	ウ	シ	ロ
袖丈一尺六寸 袖巾九寸	袖巾三寸	袖巾三寸	三寸	レキ	レキ	レキ	レキ
身の丈三尺 後巾 六寸七分五厘	前巾 五寸二分五厘	衿肩 五寸五分	社巾 五寸二分五厘	社巾 五寸二分五厘	社巾 五寸二分五厘	社巾 五寸二分五厘	社巾 五寸二分五厘

裁方の順序先づ一丈五尺四寸の中より、六尺四寸切り、其の片端より、巾三寸裁落して衿とし、廣き方を兩袖とし、残れる九尺の切を三折し、其の折目の所を一つを自己の向ふの方より、巾六寸七分五厘切り、一つを自己の方より、巾六寸七分五厘切り、三折にせし、真中の切を一つを巾六寸七分五厘、一つを巾五寸二分五厘に裁ち、後と前との身頃とまべるなり。

袖
 $16 \times 4 = 64$
 $154 - 64 = 90$
 $90 \div 3 = 30$ 身丈

積方の解。

但し巾の廣狹よりて、前後の身巾異なる故、此の三つ身の身頃を裁つときは、巾の真中より、衿肩一寸五分からむ、七分五厘裁込むなり。

是ヨリ四十二迄三ツ身参考ノ部分

前	後	六寸	後	前	四五	円	円	円	袖	七
後	前	四五	前	後	六寸	リ	エ	リ	二五	二五

巾一尺五分長さ二丈四尺四寸の片面物を以て三ツ身二枚の裁方

積り方解
 袖丈の八倍を総尺より減し残りを四に除せば身の丈を得るなり

袖
 $15 \times 8 = 120$
 $224 - 120 = 104$
 $104 \div 4 = 26$ 身丈

衿肩一寸五分
 身丈二尺一寸

前	後	袖	袖	社	前	後	円	袖
前	後	社	社	社	前	後	円	袖

常巾二丈八尺の布を以て三ツ身一枚一ツ身一枚五六寸の小供のシャツ一枚の裁方

但し三ツ身の用布半反一ツ身を九尺と見積る

袖
 $15 \times 4 = 60$
 $140 - 60 = 80$
 $80 \div 3 = 26.6$ 余 身の丈

衿肩一寸七分
 後丈二尺一寸五分
 前丈二尺一寸五分

三ツ身積り方
 袖
 $13 \times 4 = 52$
 $90 - 52 = 38$
 $38 \div 2 = 19$ 身の丈

シャツ積り方
 袖
 $7.5 \times 2 = 15$
 $50 - 15 - 9 - 1 = 25$
 $25 \div 2 = 12.5$
 $12.5 + 1 = 13.5$ 後丈

七、五	デソ	七、五	社	社	レキ	レキ	七、五	デソ	七、五
四五	前	後	後	前	六、三	六、三	四五	前	四五

中一尺二寸長さ丈二尺を以て三ツ身裁方

積り方解
総尺を四不除せ
バ身丈を得
身の丈を二に
除せば袖丈を
得る

袖丈一尺五寸
身の丈三尺
衿肩寸分
社丈二尺寸ツツ
社巾三寸七分
衿丈五尺三寸

身の丈
袖丈

$120 \div 4 = 30$
 $30 \div 2 = 15$

八、五	デソ	八、五	社	社	レキ	レキ	八、五	デソ	八、五
四五	前	後	後	前	六、三	六、三	四五	前	四五

中一尺三寸長さ丈二尺四尺片面粉物ヲ以テ三ツ身ノ裁方

積り方
前巾四寸七分

袖丈一尺七寸五分
袖巾七寸五分
社巾三寸五分
社丈二尺八寸
衿巾二寸衿丈五尺
共衿二尺

衿肩寸分
身の丈三尺
社巾四寸七分
衿丈四尺五寸
社巾三寸五分
後巾六寸三分
身の丈三尺寸六分余
衿肩寸分

ソダ
 $15 \times 4 = 60$
 $140 - 60 = 80$
 $80 \div 3 = 26.6$ 余

中一尺五寸長さ丈二尺八寸ノ布ヲ以テ

積り方
 $58 \div 2 = 29$ 身の丈
 $58 \div 4 = 14.5$ 袖丈

袖丈一尺九寸
共衿一尺寸
衿肩寸七分

社巾三寸五分
衿丈四尺六寸
社巾三寸五分

七、四	ウ	七、四	レキ	レキ	七、四	ウ	七、四	レキ	レキ
五六	ク	五六	ク	ク	五六	ク	ク	ク	ク
四	ソ	四	デ	デ	四	ソ	四	デ	デ
五	ソ	五	デ	デ	五	ソ	五	デ	デ

中一尺三寸長さ丈五尺ノ片面ノ布ヲ以テ三ツ身裁方

衿肩寸八分

袖
 $76 \times 4 = 64$
 $150 - 64 = 86$
 $86 \div 3 = 28.6$ 余
身の丈

七、五	ソ	七、五	レキ	レキ	七、五	ソ	七、五	レキ	レキ
三五	ク	三五	ク	ク	三五	ク	ク	ク	ク
二、	ソ	二、	デ	デ	二、	ソ	二、	デ	デ
二、	ソ	二、	デ	デ	二、	ソ	二、	デ	デ

中一尺三寸長さ丈三尺ノ片面物ヲ以テ三ツ身裁方

衿肩寸七分
身の丈三尺

袖丈一尺七寸五分
袖巾七寸五分
社巾三寸五分
社丈二尺八寸
衿巾二寸衿丈五尺
共衿二尺

$17.5 \times 4 = 70$
 $130 - 70 = 60$
 $60 \div 2 = 30$ 身の丈

一丈八尺の布を以て、四つ身を裁つ。袖一尺四寸五分、襟一尺四寸五分、身何程あるか。

四つ身を仕立つる寸法。

身の丈三尺内外、袖丈一尺五寸内外、袖附、袖口、各五寸内外、袖巾七寸五分内外、身の八つ口二寸五分、身巾及び衽巾、いつばい、衽下三寸五分、衽下八寸、衽巾一寸一分、相裙三分つめ、衽三分、衽なれを、一分五厘なり。

四つ身ハ四五才ヨリ七才位迄の子供の着る着物なり。

中九寸五分の布を以て、四つ身裁方の圖及び積方。

但し袖丈一尺四寸身の丈二尺八寸五分

裁方の順序。一丈七尺の中より、五尺六寸切り、兩袖とふし、残の切を四折にし、衽肩三寸八分切り、袖丈一尺四寸

其の、裾口の輪よかる方を後とし、其所を衽肩

より、巾二寸、縦に断ちて、衽とし、前身頃の方へ衽

肩より真直に折を附くるなり。

積方。

袖丈と身の丈とを合せて四倍せれば、総尺を得るなり。

マ	マ	袖	袖
ピクヲ	ピクヲ		
ハ	ロ		
ロ	ロ		
寸ニ	寸ニ		
リ	リ		
エ	エ		

後巾七寸五分
前巾五寸七分
衽肩一寸五分
身丈二尺一寸五分
衽巾二寸
衽丈四尺一寸
衽巾三寸五分

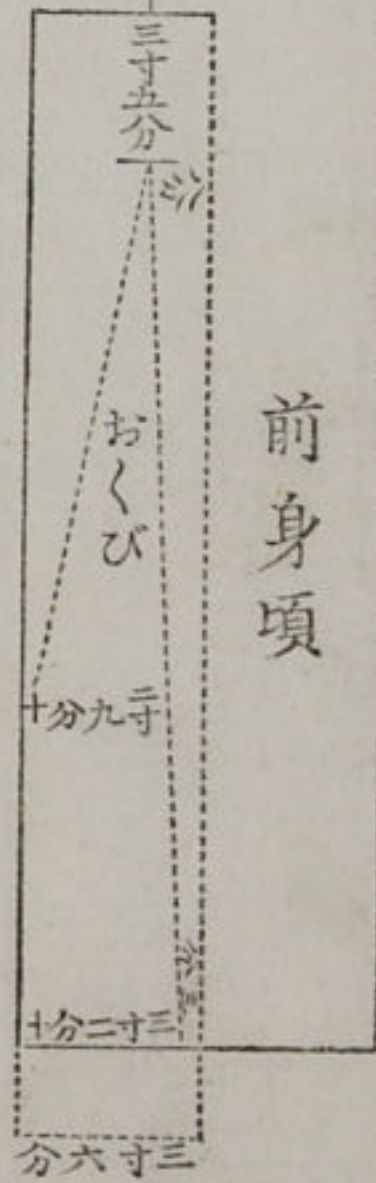
14 + 28.5 = 42.5
42.5 x 4 = 170

木綿巾ノ布ヲ以テ四ツ身ヲ裁クトスルニ袖丈一尺四寸身ノ丈二尺八寸ニセバ其用布幾許尺ゾ

通常四つ身の衤へ印を付る有様。

後身頃

前身頃



前身頃の方も、衤肩より裾口迄、真直に折を付け、裾口より於て、其の折目より二分はおれし所に印を付け、裾下の方ハ、端より二分の處に印を付け、單物ならば、裾口を五分の縫し、として印を付け、其の印の所より裾下の印を付け、相裾は、裾口より三分つめて印を付け、次に衤先より、裾下まで圖の如くに印を付て、而して前身頃の点線と衤の点線とを合せて縫ふなり。

袖

常中の布を以て、四つ身車裁の圖及び積方。但し袖丈一尺四寸、身の丈二尺八寸。

袖

積方の解。

袖丈に身の丈を加へ、四倍せれば、用布を得るなり。

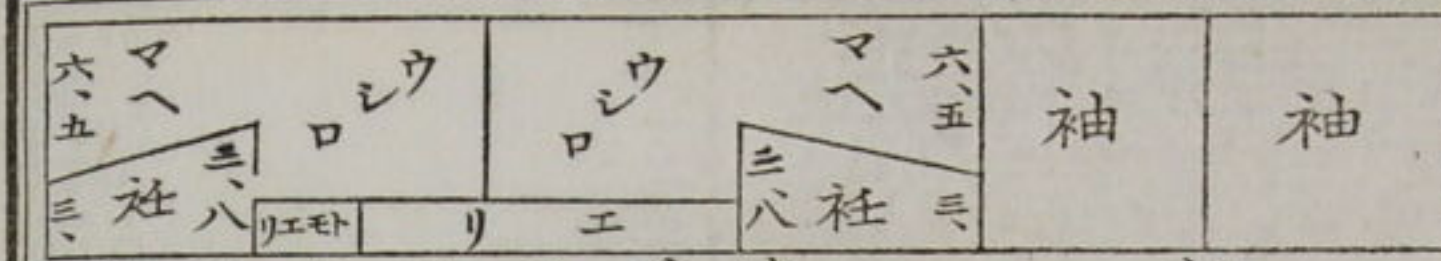
コ	ミ	コ	ミ	袖	袖
社	社	社	社	エ	レキ
社中三寸五分	衤丈二尺五寸	衤丈四尺六寸	身の丈二尺八寸	衤中三寸五分	衤肩一寸七分

$$14 + 28 = 42$$

$$42 \times 4 = 168 \text{ 用布}$$

問題 四つ身逆社裁の裁方圖を記せ。
問題 前社裁の積方を問ふ。
前社裁ハ十二才より十四才位迄着すまる着物あり。

巾九寸五分長さ一丈八尺の布を以て四つ身逆社裁方の圖及び積方。



袖丈二尺五寸
後巾七寸五分
前巾六寸五分
衿中二寸
衿肩一寸八分
身の丈三尺
衿丈五尺
衿中上三寸下三寸分

積方の式

$$15 \times 4 = 60$$

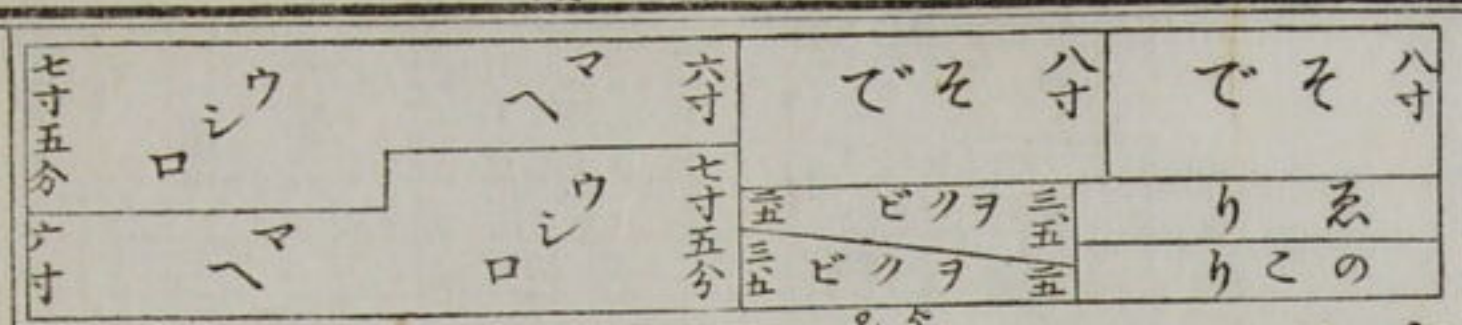
$$180 - 60 = 120$$

$$120 \div 4 = 30$$

身の丈

積方の解。
袖丈を四倍し総尺より減じ四にて除まれば身の丈を得るあり。

巾一尺三寸五分長さ一丈三分の布を以て四つ身を裁つに袖丈一尺七寸にせば身の丈何程ありや
巾一尺七寸の布を以て四つ身を裁つに袖丈一尺七寸身の丈三尺二寸の丈三尺二寸小せば用布幾尺ありや



○高等科一年第三期
巾一尺三寸五分長さ一丈二尺五寸の布を以て四つ身裁方圖及び積り方
袖丈一尺七寸二分五厘
袖丈四尺四寸衿中三寸
社丈二尺五寸
衿中上六寸五分
下八寸五分
前巾六寸
身の丈二尺八寸
衿肩一寸八分
後巾七寸五分

積方の式

$$28 \times 2 = 56$$

$$125 - 56 = 69$$

$$69 \div 4 = 17.25$$

身の丈

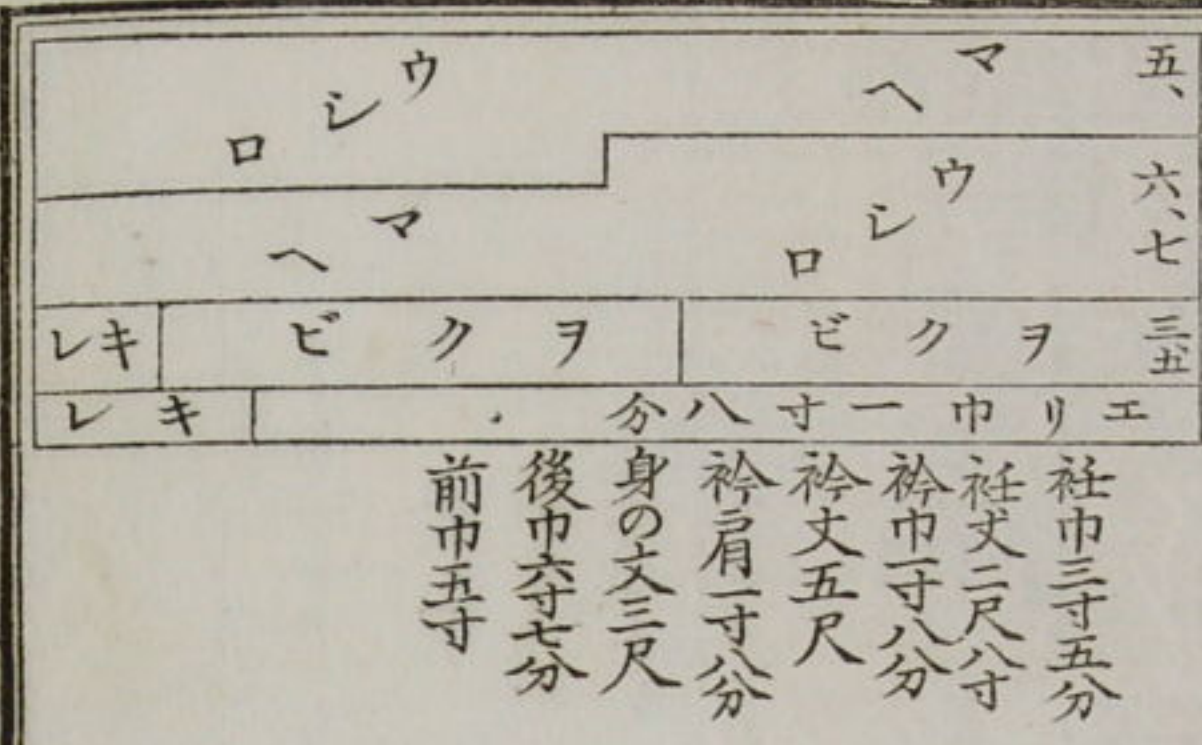
解。
身の丈の二倍を総尺より減じ其の残りを四に除せば袖丈を得るあり。

四つ身を仕立
る寸法を問ふ

巾一尺七寸の布を以て四つ身裁方の圖及び積方。

但し袖丈一尺五寸身丈三尺。

袖丈一尺五寸
袖巾八寸五分



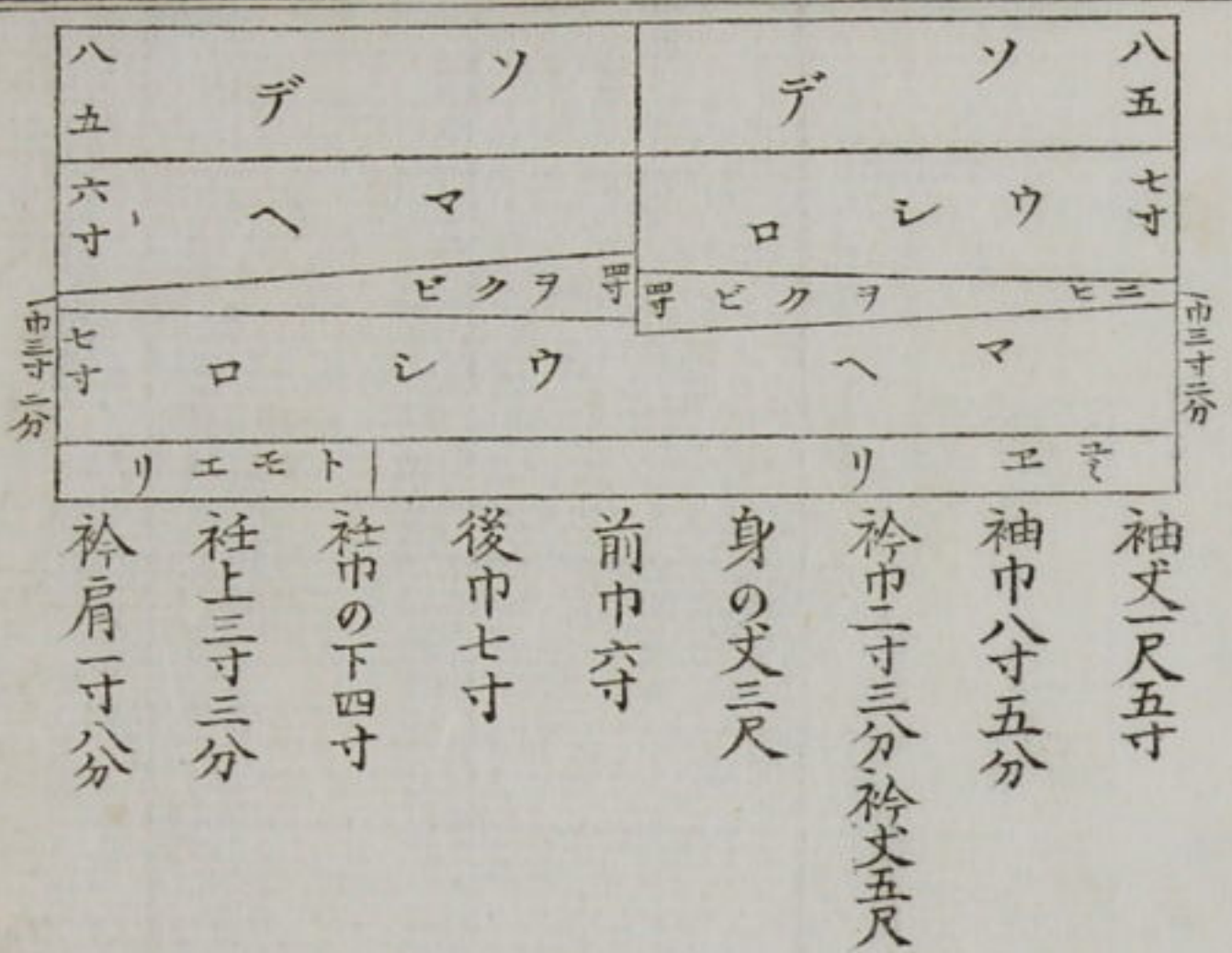
社巾三寸五分
社丈二尺寸
衿巾寸八分
衿丈五尺
衿肩寸分
身丈三尺
後巾寸七分
前巾五寸

積方リの式。
 $15 + 30 = 45$
 $45 \times 2 = 90$ 用布

解。
 袖丈に身の丈を加へ之れ
 を二倍すれば用布を得る
 あり。

巾二尺七寸長さ六尺の布を以て四つ身の裁方及び積方。

巾二尺五寸五分の布を以て四つ身を裁つに袖丈一尺六寸身の丈三尺二寸とせば其の用布何程ありや又其の裁方は如何して可なりや巾二尺のメリンスを以て四つ身を裁つに袖丈一尺五寸身の丈三尺とせば其の用布何程ありや



袖丈一尺五寸
袖巾八寸五分
社巾三寸五分
社丈二尺寸
衿巾寸八分
衿丈五尺
衿肩寸分
身丈三尺
後巾寸七分
前巾五寸

積方リの式。
 $60 \div 4 = 15$ 袂
 $60 \div 2 = 30$ 身の丈

解。
 総尺を四に除せは、
 袖丈を得又総尺を
 二に除せば身の丈
 を得るなり。

巾二尺の布を以て四つ身を裁に袖丈一尺七寸身の丈三尺三寸裁んとせば其用布幾許ナリヤ

巾二尺、長さ九尺四寸のフランネルを以て、四つ身の裁方及積方

但し袖丈一尺六寸。

解。

袖丈の二倍を総尺より減じ、二を除せば身の丈を得るなり。

八寸五分	ソ	デ	ウ	シ	ロ	マ	ヘ	五七
八寸五分	ソ	エ	リ	巾	三寸	ヲ	ク	四三
	ソ	デ	ウ	シ	ロ	マ	ヘ	四三
	ソ	デ	ウ	シ	ロ	マ	ヘ	五七

袖丈一尺六寸
身の丈三尺寸
衿丈五尺二寸
衿巾三寸
衿巾四寸三分
前巾五寸七分

但し後巾ハ七寸五分ニ裁落たり或ハ縫込置くるよる

積方の式

$$76 \times 2 = 32$$

$$94 - 32 = 62$$

$$62 \div 2 = 31 \text{ 身の丈}$$

○裁縫の種類大概 参考の部

一つ身、脛著、産著、二つ身、三つ身、四つ身、中裁、本裁、手術衣、撃劍稽古服、單半襦袢、單長襦袢、袷半襦袢、汗襦袢、袷長襦袢、半脛著、長脛著、半纏、印半纏、長半纏、子守半纏、木綿袷、絹布袷、小袖、綿入、小袖、花色裏替裏無垢、白無垢、裾模様、腰模様、總模様、江戸褙模様、單半重、單本重、二枚重、三枚重、附比翼、本比翼、かつぎ、單總伏、仕立、單總落、仕立、羽織、或ハ單、兩面羽織とも云ふ。總割仕立、袷羽織、袷兩面羽織、馬乘羽織、丸羽織、火事羽織、陣羽織、三才羽織、野羽織、兩面仕立の半纏、兩面仕立の綿入、兩面仕立の袷被布、合羽、道行、真衣、布衣、真茶師の十徳、醫師の十徳、僧の十徳、合羽羽織、脛著、風合羽、廻し合羽、脊廣鳶、二重廻し、東コー

江戸褙模様ハ徳川時代徳川の大奥より始まりし模様なり。羽織其昔ハ座除なりしが足利義満頃より常禮服と定められたり。素袍大紋の袖を取除け、長袴の裾を裁切り上下と名づく。

足利三代目義満の頃より武家の禮服と定められたり。十番馬乘袴（麻布十番と云ふ處より始る。十三番仕馬乘袴は江戸湯島大根畑より始る。）打著緋の袴（婦人の通常禮服なり士重禮服人の大禮服燕尾服ハ男子の禮服と明治十七年に定めらる。又婦人白無垢は紋付を著せば禮服不代用し男子黒の紋付羽織不袴を著用せば）

ト、三布蒲團、四布蒲團、五布蒲團、大夜著、中夜著、小夜著、脊入夜著、情夜著、どてら、抱卷、めをと夜著、衿附布團、座布團、椅子蒲團、枕蚊帳、母衣蚊帳、紙帳、麻布蚊帳、好綾蚊帳、長上下、半上下、長褌、上下、狩衣、直垂、（ケツエキ、シラフ）水干、大紋、湯乾る衣、湯上、袒汗衫、長袴、半長袴、半袴、徳川時代の十番馬乘袴、明治の十番馬乘袴、襠高袴、四布袴、十布袴、細袴、小袴、裁附袴、刺貫袴、括袴、義經袴、大口袴、下袴、表袴、志やも裁附袴、野袴、緋の長袴、緋の半長袴、緋の半袴、明治の女褌なし袴、同褌あり袴、かるさん袴、もつぺー袴、段袋袴、前懸袴、行燈袴、丸形肩衣、中一字肩衣、真一字肩衣、素褌衣、五條袈裟、七條袈裟、九條袈裟、二十五條袈裟、輪袈裟、衿堅衣、長素褌、丸紵、男帶、市川仕立、同當世仕立、女鯨帶、女鏡帶、女丸帶、女官

禮服不代用也。市川仕立と云ふは徳川時代江戸浅草の市川と云ふ袋物屋より始る。キヤラコシヤツ、八十番カタン、絲を以てミシン縫、本フランネルのシヤツは羽二重、絲を以てミシン縫、裁目ハキ鳥縫小をすべし。

の打著、同單打著、五つ衣、同かけ、裳、懸帶、唐衣、

○シヤツ及油筆の類

飾シヤツ、胸當附、後ホシタのシヤツ、太鼓胴のシヤツ、胴形のシヤツ、カブリシヤツ、カブラザルシヤツ、肩當附のシヤツ、折衿のシヤツ、車夫の半袖襯衣、車夫の筒袖襯衣、暖簾、幕、旗、幟、挾箱、油筆、筆筒、長持、油筆、服紗、襷（タスキ）、日本涎懸、西洋涎懸、禪、襪、襪

○ズボン下

腰廻り及裾口紐付のズボン下、腰廻り及裾口ボタン懸のズボン下、股引仕立のズボン下

○ズボン

半ズボン、長ズボン、馬乘ズボン、

脊廣、モーニン
グオ常服なり。
エンビコート
オ正服なりフ
ロクコートは
其代用服なり。
オーフルコー
トモ塵除等の
為に用ゐ外套
も雨著なり。

○コート

ポケットコート或ハ脊廣とも云ふ、ジヤケツト、モーニンダ
コート或ハ半マントルとも云ふ、フロクコート或ハ長マン
テルとも云ふ、エンビコート、オーフルコート、外套、

○婦人洋服下著

ズロース、ペチコート、シミズ、コーセツト、バテ等なり。

○婦人洋服

上著をボテと云ふ、袴をスカツと云ふ、ジヤケツト、オーバコ
ート、小禮服、大禮服。

○股引足袋腹懸

絲襪の股引、パツチ、足袋、山附脚半、大津脚半、胴廻りなしの股

股引ハ昔種ケ
島ハ外國の難

船渡せしとき
我國へ始めて
渡りしと云ふ。

引襠なしの股引、半股引、猿跨或ハ西洋フンドシと云ふ。龜甲
腹懸、十文字腹懸、ネビヘシラズ。

○頭巾並小帽子

早通頭巾、高祖頭巾、船底頭巾、宗十郎頭巾、山岡頭巾、吉原頭巾、
大黒頭巾、夏の垂帽子、冬の垂帽子、雪帽子、日除帽子、鳥打帽子、
瀬川帽子、綿帽子、眼バカリ頭巾、面オホヒ、オスヒ、英山帽子、
風呂敷、日本前懸、西洋前懸、

風呂敷昔ハ風
呂場ハ敷物
と云ふ。
西洋前懸ハ至
極便利なれば
日本服の着物
の上不用なる
も妙なり、其仕
立方種々あり。

袖口袖表裏ハ 左右脊後前 堅前行 飾小衿小衿 全合
 掛方口形裨裨口 襠襠縫中巾下先付付行体計
 左右左右左右左右前後前後 左右左右左右左右左右 0、
 1、1、5、5、5、2、2、1、1、3、3、2、2、2、2、1、1、1、2、2、3、3、1、1、1、3、3、2、
 100、

被布

袖口袖表裏ハ 左右脊後前 堅前行 飾小衿小衿 全合
 掛方口形裨裨口 襠襠縫中巾下先付付行体計
 左右左右左右左右前後前後 左右左右左右左右左右 0、
 1、1、5、5、5、2、2、1、1、3、3、2、2、2、2、1、1、1、2、2、3、3、1、1、1、3、3、2、
 100、

男單袴

後紐前紐腰ツケサ、一ノニノフトケマアヒナ 後前紐全合
 紵方紵方板 ビシヒダヒダコロワシビキゲ 布付方体計
 左右左右裏左右左右左右前後前後左右左右左右 0、
 1、1、1、1、1、4、3、3、5、5、3、3、3、3、3、3、4、4、3、3、2、2、5、
 100、

女襠無袴

後紐前紐後前後 フトケマアヒ 紐前全合
 紵方紵方サシサシヒダニ コロワシビキ付方ヒダニ体計

左右左右左右左右前後前後左右前後左右左右 0、
 2、2、2、2、5、5、5、2、2、2、5、5、4、4、3、3、6、6、2、2、2、2、
 100、

シヤツ

カウスカ 肩衿見前後馬脇袖胸 先手ノ脇ノ全合
 ノ穴 ヲス當付返裾裾乗縫付穴 ヲハハハ 先手ノ脇ノ全合
 一、二、右、左右前後裏表左右左右 左右左右左右一、二、三、四、五、左右左右左右 0、
 4、4、4、4、5、5、2、2、1、3、2、2、2、3、2、2、2、2、4、4、4、4、1、5、1、1、1、1、2、
 100、

ズボン下

前立穴カ、リ 腰廻大腰見脊マ 早裾シツ裾口後ノ前ノ全合
 ノ穴穴 廻返縫夕縫口ク 袴袴袴 袴袴袴 体計
 一、二、三、四、五、左右 左右左右 左右左右左右左右左右 0、
 4、4、4、4、4、4、6、4、4、3、2、3、3、4、4、3、3、3、3、1、1、1、
 100、

裁縫教科書卷之一

裁縫教科書卷之一終

375.5

W46

昭和59年1月03日

469

生活資料館

明治三十年三月二十七日印刷
同 年三月三十一日發行

定價金三十錢

版權所有

編纂兼發行者

千葉縣平民

渡邊辰五郎

東京市本郷區東竹町廿五番地

東京裁縫女學校

東京市本郷區東竹町廿五番地

二原堂印刷部

東京市本郷區弓町二丁目十番地

富谷元吉郎

東京市本郷區真砂町七番地

前川善兵衛

大阪市南久寶寺町四丁目八番地

宮川保全

東京市神田區表神保町二番地

木郷弓町原照堂刻

